

2016

年号

NO.59

JASPA

Japan Software Party Association

ITコラボレーション元年!!

～世界最高水準のIT社会を目指して～



北海道ソフトウェア事業協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
ソフトウェア事業協同組合
YRP情報産業協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
K T - N E T
一般社団法人日本個人情報管理協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

青森県ソフトウェア協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
電算ソフトウェア協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
広島県西部情報サービス協同組合
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会

宮城県ソフトウェア事業協同組合
グリーンIT協同組合
中央イメージテクノロジー研究開発協同組合
ハイテクノロジーソフトウェア開発協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

全国ソフトウェア協同組合連合会

東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前7F TEL 03-3473-9822 FAX 03-3446-4180 ホームページ <http://www.jaspanet.or.jp>



目次

■会長ご挨拶	03
■巻頭特集①	
JASPA特別座談会 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 渡邊課長に聞く、経済産業省が取り組む重点テーマとソフトウェア産業が抱える諸問題について	04
■トピックス	
全国組合員の活動実績紹介	11
■特集②	
22世紀フォーラム及び各専任委員会の紹介	17
■全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)の概要	21
JASPA概要、役員、組織図、事業内容、JASPA会員の特典 連合会の活動、JASPA会員組合	
■JASPA会員組合の紹介コーナー／NEWS 東西南北レポート	
会員組合の事業内容のご紹介	26
■NEW LEADERS	
エヌ・ラボ株式会社 中島 啓吾、株式会社システック福岡 伊集院 一人、株式会社FM. Bee 高畑 道子	34
■平成27年JASPA活動報告	
賀詞交歓会、年間の運営委員会、懇親会、懇親スポーツ大会	37
■平成28年JASPA活動予定	42
■編集後記	42

会長ご挨拶

全国ソフトウェア協同組合連合会

会長 中島 洋



激動の時期に突入しました。東アジアのパワーバランスの変化、シリア難民の発生、ISに絡むテロや武力行使など、国際関係が緊張の度を強めています。情報通信分野でも、サイバー攻撃は「戦争」と呼ぶ段階になりました。日常生活や産業活動、社会活動など、あらゆる分野の基盤となっている情報インフラが脆弱性を露わにし、危機的状況です。重要な情報資産をどのように守るのか。日本の情報産業界が直面する大きな課題でもあります。

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)は全国各地の中堅・中小のソフト会社が組織している事業協同組合の連合体で、大きく揺れ動く情報産業の環境の中で、各地の協同組合メンバー企業が新しいビジネスのスタイルを開拓してゆくのをお手伝いし、新しい「情報企業」の形を生み出してゆきたいと思っています。

メンバーの組合は「事業協同組合」で、共同研修や共同福利厚生、共同受注、共同求人などのビジネスに直結する活動や改正派遣法への対応、各種の助成金・補助金の活用法など、経営に役立つ情報の収集と共有化を進めています。また、経済産業省、総務省、厚生労働省などの関連省庁や政界とも、直面する課題について情報交換し、施策を要望しています。

ただ、近年、JASPA単独でこうした施策を提案することに限界を感じているのも確かです。情報業界には、目的・趣旨が異なるとはいえ、

同様に業界の現状の課題を認識して打開策を考える団体・組織が多数、活動しています。今後は、できるだけ、こうした団体と連携をとりながら、力を強めて活動してゆく方針です。

足下の状況をみれば、情報市場は拡大が続いています。マイナンバーに伴う需要増大や「高度情報国家、日本」のアピールの場になる2020年の東京五輪に向けての情報インフラ整備、IoT、ビッグデータ、ロボット技術の進展などへの対応で人手不足が目立っています。人材をどう育て、確保するか。生産性の極めて高い開発技法をどのように浸透させるか。組合連合会一丸となっているいろいろな活動を繰り広げているところです。

冒頭のサイバーセキュリティも重要です。サイバー攻撃から情報資産を防衛する重要性は、マイナンバーの施行に伴ってさらに認識が深くなっています。JASPAでは、情報セキュリティや個人情報保護意識の向上、体制整備を促すため、日本個人情報管理協会(JAPiCO)の活動を全面的に支援しています。JASPA加盟企業の中にもユニークなVPN(仮想私設網)サービスの提供企業や標的型攻撃から情報を守る「秘密分散法」の技術を提供する企業など、日本企業のセキュリティを支援するメンバーもそろってきました。

激変する環境、次々出現する課題を、組合内外の力を結集して解決してゆく決意です。

明日の安心のために… JASPA共済

JASPA共済に是非ご加入下さい!!

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)では構成員企業の経営の安定を目指すことにより、ソフトウェア開発関連技術の向上ならびに、構成員企業相互の共済および福利厚生の充実を図る事を目的に共済事業を行っております。それが全国ソフトウェア協同組合連合会共済(JASPA共済)です。

全国ソフトウェア協同組合連合会
生命共済 & (上乗せ)がん共済

年齢に関係なく月会費500円 & 1,000円の合計1,500円(1口)~のお支払いで、
会員企業の役員・従業員様の生命共済及び幅広いがん保障が受けられます。

※詳細は下記JASPA事務局迄お問合せ下さい。

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)共済会事務局
TEL 03-3473-9822【JASPA共済】
ホームページアドレス <http://www.jaspanet.or.jp> E-mail jaspajimu@jaspanet.or.jp

- 1.生命共済では月々一口500円の掛金(最高2口まで)で死亡時300万円の保障が受けられます
- 2.がん共済では一口1000円の掛金(最高2口まで)でがん罹患による
a.診断給付金100万円、
b.入院給付金日額1万円、
c.手術給付金(手術の種類により変動)の保障が受けられます
- 3.がん共済は既存の生命共済の上乗せ共済です(※生命共済に加入の会員が加入できます)
- 4.1年更新型です。中途解約金はありません
- 5.会員企業単位での全員加入型のみ取扱
- 6.共済会費負担は会員企業(全額損金処理可能)

※毎年決算時に剰余金に対し配当が行われます。



JASPA
特別座談会

■日 時 平成27年10月21日(水)15:00～17:00

■場 所 メルパルク東京 5階「華厳」

渡邊 昇治 (経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長)	中島 洋 (JASPA 会長／首都圏ソフトウェア協同組合 理事)
太田 貴之 (JASPA 理事／宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事)	眞杉 幸市 (JASPA 監事／首都圏ソフトウェア協同組合 理事長)
青谷 哲也 (JASPA 参事／ハイテック／ソフトウェア開発協同組合 理事)	林 知之 (JASPA 参事／埼玉ソフトウェア事業協同組合 理事／KT-NET 委員長)
横尾 良明 (JASPA 事務局長／首都圏ソフトウェア協同組合 最高顧問)	鈴木 勝博 (JASPA 教育・人材委員長／首都圏ソフトウェア協同組合)
塚本 学 (JASPA 経営支援委員長／首都圏ソフトウェア協同組合)	

(中島)IoTやビッグデータ、あるいは人工知能が新しい段階に来ていることから、現在、JASPAは非常に忙しい状況です。加えて、オリンピックが控えていて、セキュリティを頑張らなければいけないのですが、来年に向けて経済産業省としてはIT関連ではどんなことを考えておられるかという話から、まずお伺いしたいと思います。

1.経済産業省におけるトピックス

(渡邊)最近の情報処理振興課、経済産業省が取り組んでいるトピックスの一つは、IoT→ビッグデータ→人工知能という流れがとことん導入されると、2030年ぐらいにはどうなるのかというビジョンを作ることです。並行して、実際にこれをケーススタディ的に実証するため、10月末に「IoT推進ラボ」を立ち上げました。今後、十幾つかの分野で取り組んでいこうと思いますが、ITは横断的に絡んでいきますから、僕たちが横断的にサポートしていく予定です。

その一方で、守りの方も非常に大事です。特に今、当課で時間を割いているのは、セキュリティの問題です。年金情報の流出問題もあり、オリンピックやマイナンバー制度の

導入に絡んで、重要インフラへのサイバーアタック対策を中央省庁が一生懸命やっていますが、独法や特殊法人についてもセキュリティ対策をしっかりしていくとなると、やはり人が足りません。また、中堅・中小企業だと、ITの専門家はなかなか採用できませんし、経営者の方にどうやってセキュリティの重要性を理解していただくかということにも取り組んでいます。

2.日本IT団体連盟への参加

(中島)では、われわれの業界では今、何が動いているか、あるいは日本IT団体連盟にJASPAがどのような考えで参加しているかについて、青谷さんからお願います。(青谷)現在、県単位の情報サービス産業協会の取りまとめをする全国団体であるANIA(全国地域情報産業団体連合会)、CSAJ(コンピュータソフトウェア協会)、JIET(日本情報技術取引所)、そしてわれわれJASPAのメンバーが発起人となり、IT界の約200の団体や協議会が大きな傘のくくりを作ろうという趣旨で、日本IT団体連盟を立ち上げようとしています。連盟への加入が一つの

ブランドになり、みんなが幸せになればと考えています。

(渡邊)加入するときには、推薦者が2人ほどつく、あるいは、各種セキュリティや法令厳守を宣言するといったことは、ぜひしていただきたいです。

(中島)団体への入会基準があった方がいいですね。

(青谷)2020年に向けたサイバーディフェンスリーグということで、セキュリティ強化を旗印に揚げていくという動きは出ていますので、ぜひ応援していただければと思います。

(渡邊)サイバーディフェンスリーグは、ピンチのときにボランティアとして協力していただくということで大変ありがたいと思います。セキュリティに関する技術や知識、更には良識を持った方の力が必要となります。(青谷)実際、セキュリティ系の技術者と普通の業務アプリケーション系の技術者は全く違って、それ相応のテクノロジーに関する知識を持った人間の確保は非常に難しい問題だと思いますので、施策も含めてよろしくお願います。



渡邊 昇治
経済産業省
商務情報政策局 情報処理振興課 課長

3.セキュリティ人材育成に関する施策の推進

(中島)セキュリティ人材育成の施策は、具体的にどのように進められるのでしょうか。

(渡邊)まず裾野を広げるために、会社の中で管理職になる方や、ある程度情報を扱う方が国家資格を取れるようにしようと、「情報セキュリティマネジメント試験」を来春から始めることが決まっています。既にある、もう少し高度な「情報セキュリティスペシャリスト試験」には、毎年約5000人の方が合格されています。これは1回合格したらそれきりなのですが、セキュリティの技術はどんどん変わるので、3年に1回ぐらい更新する、あるいは講習を受けてもらうような資格にできないか検討しています。そして、きちんと更新している方は名簿に登録して公表する形を取りたいと思います。

(青谷)サイバー攻撃への対応となると、非常に高いレベルが要求されますが。

(渡邊)スペシャリスト試験の方は、かなりレベルの高い試験です。加えて今、IPA(情報処理推進機構)では、非常に才能のある若い人を集めて、セキュリティ・キャンプなどを行っています。そういうキャンプやコンテストを振興していくことも大いに必要だと思っています。

(林)情報セキュリティマネジメント試験もIPAが行っているのですか。

(渡邊)国家試験なのですが、IPAが指定を受けて受託しています。初級より少し上ぐらいまでのレベルの試験です。

4.国産セキュリティ産業の育成

(中島)アメリカと中国でサイバー攻撃をやり合っていて、日本にも随分攻めてきています。日本発のセキュリティソフトの開発も重要だと思いますが、いかがでしょうか。

(渡邊)おっしゃるとおりで、国産セキュリティ産業の育成は非常に大きなテーマです。経済産業省も、もう少しソフトウェア部門、特にセキュリティや人工知能の分野に国の研究費を配分しようとしていますし、文部科学省もそういう方向になってきています。ソフトの中でも

特にどういう技術開発が必要なのか、どこを国が支援する必要があるのかということまで含めて、しっかり戦略を作ろうと思っています。(青谷)サイバーセキュリティ基本法でも、国内のセキュリティ産業の育成を戦略本部の一つのミッションとしていますが、具体的に動いているのでしょうか。

(渡邊)産業振興については、われわれ経済産業省がやらなければいけない話ですが、まずはどのような研究テーマがあって、日本はどこが弱くて、どこを後押ししなければいけないかをしっかり検討した方がいいと思います。ちなみに、平成28年度の予算にぎりぎり間に合ったので少し差し替えて、セキュリティ関係のソフトの技術開発にも研究費が出せるような形にはしています。

(中島)大学の先生方は論文を書いてなんぼなので、産業界と組んで秘密裏にセキュリティのソフト開発を進めるというようには、なかなかいかないのが悩ましいところです。日本の優秀な技術をうまく引きずり出すような方策が欲しいと思うのですが。

(渡邊)今は文部科学省もクローズ・アンド・オープン戦略を言い始めていますし、アメリカでも本当に大事な特許だけ出して、そうでないものは隠してノウハウにするとか、特許は海外出願、国際特許を原則とするという感じで、戦略を少し切り替えてきています。そうした動きはだんだん加速されていくと思います。

(眞杉)民間の脆弱ソフトを全て調査して、脆弱性があるものは作成者に断らずに発表するということを経済産業省が考えているという記事が、新聞に載っていたのですが。

(渡邊)ゼロデイのような問題が出てしまうといけないので、まずは開発者に連絡し、公表しても問題ないことが分かれば公表するのですが、中には開発者と連絡が取れない、あるいは開発者が同意しない場合があります。公表しないことでユーザーが被るリスクや不利益を第三者委員会等できちんと評価し、公表しない方がリスクが大きそうな場合には公表しようということです。

(眞杉)作る段階で、ロジック的な問題がないか第三者が証明する、あるいは改ざんなど変なことが起きないようにする方向でいくべきではないかと思うのですが。

(渡邊)脆弱性対策については、ソフトウェアエンジニアリング手法を使って開発段階からチェックする研究は行っていますが、広めていくにはコストがかかります。チェックを受けたら事故時に保険料が安くなるという保険制度などを作られたらどうかと思うのですが。

(林)あるにはあります。

(青谷)コンシューマー向けのサービスを作って納品するときに、富士通に第三者チェックを依頼したのですが、べらぼうに金がかかるわけでもなく、大変有意義でした。

(中島)そういうことを繰り返していくうちに、日本でのノウハウが蓄積していくでしょう。重要なのは、とにかく早く日本発のセキュリティのサービスをきちんと作ることです。現状、日本ははるかに後れています。サイバー防衛のための予算も、もう少し取って欲しないと難しいです。

(渡邊)日本の成長戦略は今、エネルギーとライフサイエンスを2本柱とし、それにインフラや中小企業、農業をプラスしてといった感じですが、アメリカは、何は無くともまず軍事からです。そこは非常に大きな違いです。ただ、日本の成長戦略の中には、インフラという柱は建っているわけです。例えば、古くなった橋をITを使って検知して架け替えるといったことが実証されていけば、新しいITの原動力になるのではないかと期待しています。正直に言うと、ITはもう使って当たり前という感じになってしまっていたのと、経済産業省としては、どうしても震災復興対策などに人を充てざるを得なかった分、IT政策が手薄になっていました。一緒にやっていただく皆さんが頑張られれば、われわれ経済産業省も頑張れるというところもあると思います。(中島)十分ITを知っている方が責任者になってくださって、かつ、われわれの方も業界団体が一緒に行動していこうという機運になっていますので、ぜひ新しいITビジョンを作っていけたらと思っています。特にセキュリティは集まりやすいテーマなので、最初に取り組んで、質を高めたいと思います。

5.IoT推進ラボ

(中島)10月末に立ち上がったIoT推進ラボとは、どのようなものですか。

(渡邊)基本的には官民連携で、どちらかというと少し民主導のようなところがあるかと思いますが、まずは会員間で自由な議論をしていただき、面白い案件が出てくれば、それを



中島 洋
JASPA 会長
首都圏ソフトウェア協同組合 理事



横尾 良明
JASPA 事務局長
首都圏ソフトウェア協同組合 最高顧問

国が支援していくというイメージです。中には規制緩和を伴うものがあると思いますから、制度改革を関係省庁に働き掛けていきます。
(中島) 企業単位で参加するのですか。
(渡邊) 企業でも団体でも構いませんし、役所も会員になってサポートします。特に今回、経済産業省は比較的産業界に近いところで実証試験的なことやビジョンづくりに、総務省は研究開発や標準化に取り組み、全体として同じコンソーシアムの中で一緒にやることになっています。
(林) 参加企業の業種は問わないのですか。
(渡邊) 問いません。むしろIT以外の人たちにITを使ってほしいと思っています。
(青谷) IoTはドイツが標準化づくりで先行してしまっているのですが、IoTコンソーシアムなどの動きには、日本なりの標準化を急ぎたい

という意味があるのですか。
(渡邊) 分野によって温度差があって、農業などは結構時間がかかると思うのですが、片や製造業ではドイツが「インダストリー4.0」を出して、国際的にも標準化していきましょうということになってきています。ドイツとアメリカもだいぶ歩み寄っている、日本もそれを毛嫌いすることなくやっていったらいいと思います。
(太田) IoTは「もののインターネット」ということで、ものづくりを売りにしている日本としては期待を持つところです。そういう中で、この推進コンソーシアムは非常に有意義な会になるのではないかと思います。
(林) 産業という位置付けで、縦の大きな柱、あるいは大きな横串が欲しいですね。
(鈴木) IT人材の育成は、製造業との共同の人材育成であってしかるべきですし、マーケティングの部分との連動性がないのもおかしいと思います。
(渡邊) おっしゃるとおりです。ITはプログラムだけ分かっているても意味がなく、使って初めて役に立つものなので、非常にレベルの高い人材が必要です。大学で、文科系でも1～2年生の教養の中にITを入れるといったことが、ちょうど今、文部科学省と経済産業省で行っている理工系技術者の円卓会議でも話題になっていますので、われわれもぜひサポートしていきたいと思います。

(中島) SFC(慶應大学湘南藤沢キャンパス)などは理工系と文科系の壁がなくなっており、外の評価は分かりませんが、中ではみんな自己満足しています。アメリカのベンチャー精神みたいなものを持った先生方も多くて、何でもかんでもやらせろという感じです。
(林) われわれも会社で金融など業務系のアプリケーションの開発をしていますが、やはり文系の方が多いです。しかし、KDDI研究所などの仕事で、セキュリティや暗号、画像となると、逆に言うと理系でないといけません。
(渡邊) ITが好きでも、数学ができなくて諦めて文系の学部に行ってしまったらITの授業が受けられないというのでは、もったいないです。
(中島) インフラの構築だけを見れば理系の人が向いているかもしれませんが、IT全体は総合科学です。
(渡邊) 日本IT団体連盟で、そういう提言をまとめて文部科学省に持っていくなどの活動ができるといいですね。そして、「うちの業界には50～60歳以上の方がいっぱいいるので、いくらでも教えにいきますよ」と言ってあげればいいと思います。
(林) 今の先生にITを覚えさせようとするから無理なのです。
(横尾) 海外並みにインターンシップが盛んなれば、まだいぶ変わります。企業に連れてきて、仕事を覚えさせて帰すと単位をくれると



青谷 哲也
JASPA 参事 22世紀フォーラム 会長
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事

いう制度をそろそろ考えていかないと、今の先生の問題や実際の技術の問題が、ずっと後を引いてしまうと思います。

6.IT化の推進の課題
(真杉) マイナンバー制度がスタートして、国としてはどんどん民間利用を促進していこうとしている反面、それに反対する方々がまだ阻止しようとしている状態です。もっと強引に「国としてはここまでいくんだ、だから文句を言うな」というようなことはできないのでしょうか。
(渡邊) 確かにマイナンバーも、きちんと説明してご理解いただき、使うのが当たり前となってくれば、おっしゃっているような世界に入れると思います。ただ、あまり急激にやると、いろいろ問題があります。
(横尾) 今は私どもの業界ですら、請求書を紙で送っているのです。全体的にペーパーレスになっていけば、大きく変わるはずなのですが。
(渡邊) 僕は今、「情報課クラウド」を考えています(笑)。課の仕事、重要なテーマを30ほど並べてモジュール化し、各テーマについて、それぞれ1枚紙、3枚紙、10枚紙を用意して100個ぐらいのライブラリにしておき、発注に合わせてそれらを組み合わせる送って、レクなしにするというものです。ネットでしか発注は受け付けず、折り返しもメールで返すだけ

にします。あとは発注して、紙でもらった方がオープンソースで、もらったものを適当に直して使う。そういうものが新しい行政のスタイルのような気がしています。
(鈴木) ただ、漏えいのリスクがあるので、あえて紙で管理しようという会社もあります。どうしてもまだ行政に信頼感がないので、そういう動きが逆に広がっているように思います。
(渡邊) しかし、使うときは電子化されていないと使いにくいので。
(中島) サイバー攻撃のリスクは、インターネットにつながれているときに生じるものです。インターネットから遮断するソフトは、当組合メンバーのTCSIが出しています。USBを差したらインターネットが遮断され、抜く直前にいったん秘密分散処理がされて、保管はPCとUSBに暗号化されて分割されるので、USBを盗まれても大丈夫、パソコンを盗まれても大丈夫、USBを抜いてもマイナンバーの情報は全く見えないという形になっています。ですので、鈴木さんが言われた紙うんぬんは、もう時代遅れなのです。
(鈴木) ただ、啓蒙がかなり必要だと思います。
(渡邊) それから、役所は特に実績のある業者からしか調達しないので、中小企業やベンチャー企業が考えた新しい製品は、なかなか調達してもらえません。信頼されるレッテルになればいいのではないかと思います。
(中島) 何が必要かが分かってくると、それを上回る新しいサービスを作っていける。そういうものを積み重ねていくことが軸になると思います。

7.セキュリティについて
(塚本) 日本発の開発推進や言語について、主にセキュリティの観点からお聞きます。例えば今、Googleやマイクロソフトなど、アメリカのテクノロジーを使って開発なり何なりをしていて、インターネットに接続していないとセキュリティパッチが当たらないという

状況だと、向こうに止められてしまったら逆に脆弱性だらけになります。そう考えると、Linuxのカーネルなどを解析して自国OSとして推奨するなり、言語で言えばRubyなどを、今後、官としてどう捉えていくかがセキュリティに付随してくると思うのですが。
(中島) 今使っているソフトのセキュリティの問題ですね。
(塚本) AmazonやGoogle、マイクロソフトなど、みんなクラウドのサービスを出していますが、日本であだけのパフォーマンスを出せるものは、今はありません。もう少し確固たる信念を持って、日本国としてやるべきなのではないかということです。
(中島) 一時期は「日の丸OS」と言っていたんですが、そういう考え方はなくなってしまったのですか。
(渡邊) 日本の今のITを支えている技術を持つ会社が、ある日、中国に買収されてしまうと、もう日本向けのサービスはしないということが起こるかもしれません。僕も今、指摘されて初めて気付いたのですが、そういうリスクアセスメントはしておかないといけないのかもしれない。
(塚本) 日本国内ではこのセキュリティソフトだけを使いなさいというぐらいの勢いで、知見を集める形を持っておく。業界のわれわれに



林 知之
JASPA 参事 22世紀フォーラム 代表幹事
埼玉ソフトウェア事業協同組合 理事 KT-NET 委員長



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-21-7 住友不動産池袋西口ビル5階
URL <http://www.jitrad.com> TEL 03-6907-0751
理事長 平川 学

当組合の特徴は、確かな技術力のみならず、バラエティかつ個性的な会社により構成されているところにあります。
OA分野における通信、インターネットを利用したシステム構築から制御系分野、ファシリティアサービス、画像処理システム開発、さらにはゲーム、スマートフォンやタブレット向けのコンテンツ制作、福祉関連事業など、それぞれが技術の特化と幅広い分野への成長を心がけ、良質なソフトウェアプロダクトの提供を中心に事業展開しております。

現在、新規加盟企業様を募集しております。

～ 当組合の特徴 ～

当組合には、顧問として弁護士、社会保険労務士、税理士、人材育成・経営コンサルタント、発明プロデュース協会会長が加盟しており、月に一度の定例会では、専門的な立場から経営や労務、人材育成などに関する意見やアドバイスをします。
また、時勢に合ったテーマで勉強会や講演会を行ったりします。



**ビジネスの発展を
コンサルティング集団の
グリーンITが支援します。**

IT システム最適化	ウェブマーケティング	物流効率化	EC サイト構築
人材教育 / 研修	企業統合 / M&A	財務戦略	福利厚生サポート

グリーンIT協同組合 <http://www.green-it.or.jp/> ※無料相談受付中
〒108-0074 東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺7F TEL 03-3473-9774 FAX 03-3473-9825



太田 貴之
JASPA 理事 22世紀フォーラム 交流委員長
宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事

セキュリティに対する知識がそんなにないのに、エンドユーザーにあるわけがないのです。これぐらいの費用でと言われたら、それで作らざるを得ない状況が、セキュリティという観点を全部脱落させている現状があるので、そこは国も重きを置いてやるべきだろうと思います。(渡邊) 国産なのだけれども海外とつながることができるもので、仮に海外製品で悪さをされたらこちらにすればいいというものを、用意しておいた方がいいということですか。(塚本) 例えば、ウイルスバスターはセキュリティパッチが当たってなければ、「当たっていませんよ」とアラートがあがるだけなのですが、パッチが止められてしまったときに、

逆にウイルスバスターのようなソフトにアップデートがかかって、そこを担保できるといった話です。OSや言語という非常に大きなことになってしまうので、それは考えておかないとまずいのではないかと思います。(渡邊) 産業技術総合研究所など国の研究機関の一つの存在意義は、そういうところにあるような気がします。今すぐは売り物にならなくても、セカンドチョイスを研究して持っているということは必要なのではないでしょうか。非常にいいご指摘だと思います。(横尾) そういう重要なものは国がやって、無償で提供するというのも、考えようと思えば考えられるでしょうね。(鈴木) アニメなど日本が強いコンテンツと連動させてセキュリティの部分をやっていくと、海外にも意外と売りやすいのではないのでしょうか。権利保護もそうです。そういう方が、日本の標準を作りやすいのではないかと思います。(渡邊) これからASEAN各国がセキュリティ対策を導入していくときに、「日本の技術だと、こういう奥の手もきちんと考えていますよ」ということが言えるかどうかは重要です。その際には、日本の技術者がもっとASEANに出ていって、向こうの若い研究者や企業に教えることに、非常に意味があります。

(鈴木) 昔、ITSS(IT skill standard)をアジアスタンダードにしようということをおっしゃっていましたが、教育の部分のITのアジア標準という戦略はあるのでしょうか。(渡邊) SEの歴史が始まってまだ30〜40年で、ちょうど最初のSEが今60歳ぐらいだと思います。プログラマーは難しくても、指導者やアドバイザーはやれるのではないのでしょうか。結構、能力のある人が余っている感じがします。ただ、マイナンバーは何だといったことが時々特需的に起こるので、人員のバップアーを抱えていないといけません。難しいですね。

8.マイナンバー制度と個人情報保護委員会
(横尾) マイナンバーの話をお聞きます。日本個人情報管理協会は中島さんが理事長ですが、今度できる個人情報保護委員会に加盟する形になるのでしょうか。(中島) 協力はしますが、加盟はしません。(渡邊) 個人情報保護委員会は第三者委員会で、今まで各役所に点在していた個人情報に



眞杉 幸市
JASPA 監事
首都圏ソフトウェア協同組合 理事長

関する権限をそこに吸い上げる、いわゆるコミッショナーです。(横尾) そのことで具体的にはどのように変わっていくのでしょうか。(渡邊) 確かに個人情報保護委員会の非常に大きな話題の一つはマイナンバーですが、それはむしろ早く片付けて、世の中にたくさんあるビッグデータや使われていない個人情報を、どうやってうまく使うかを判断していただけるといいのではないかと思います。これは私の課ではなくて、近くの課で検討を進めていますので、それを信用しましょう。(横尾) それから、セキュリティの話の根幹に戻ったときのために、プログラムを作るときのコードサイニングをある程度義務化する必要があると思います。(中島) 国の経済政策でせっかく発注したのに、いつの間にか中国で作っていて経済効果が出ないことがあります。コードサインされるとばれてしまうので、徹底的に体を張って反対する人たちがいますが、これはそろそろ実現した方がいいと思います。(渡邊) 今、下請ガイドラインにセキュリティやプライバシーの項目が追加はされていますが、確かにセキュリティの観点から、そういうものが必要なのではないでしょうか。(横尾) そうすると、副産物として、例えばこう

いうソフトについてはこの人が権威者だといったことが分かってくるのです。(渡邊) 昔のマツダのRX-7というスポーツカーはロータリーエンジンで、エンジンを回転させて上にワイングラスを乗せてもワインの表面が全く震えないことを確認したら、作った工員さんが最後にエンジンにサインを入れるのです。そうすると、そんな車が欲しくなるではないですか。そういうものがソフトウェアの世界でもあるといいですね。(中島) そうなると客観的に評価ができるので、表彰制度もきちんと作れると思います。(青谷) トレーサビリティにもなりますし。(中島) EUは、ユダヤ人迫害の歴史があるので、個人情報については極めて厳しい制約を持っています。Googleやアップルはサービスが許されていましたが、スノーデンの告発によって実はアメリカのさる機関が監視していることが分かったので、欧州の司法裁判所はセーフハーバー協定を無効とする判決を出しました。これは個人の安全を尊重し、鎖国も辞さずという判決に見えるのですが、日本ではそのようなことは起こらないのですか。(渡邊) 法的な考え方にとった判断と、実際の産業界で行われることには少しギャップがあるような気もするので、ヨーロッパが厳しくなっているから日本も厳しくしようというような議論はしない方がいいし、むしろヨーロッパでも利活用の議論は結構盛んに行われています。(中島) リコメンデーションのサービスなどは、機械が条件に基づいてメッセージを出すというだけの話で、誰も人間が関与しないので情報の漏えいが起こらない工夫はできるでしょう。リコメンデーションエンジンも、個人データをアメリカのサーバーで処理するのは認めませんが、ヨーロッパにサーバーを置けばいいのではないのでしょうか。(渡邊) ヨーロッパの裁判所は、そういうことは抜きに、法的に考えているのではないかと思います

います。例えば、15年前にはNTTの電話帳に個人の名前と電話番号が書かれまくっていましたが、あれを今やると捕まります。今は個人情報漏えいでみんな盛り上がっているけれども、企業情報漏えいの方がはるかに深刻で、慎重に考えなければいけない局面にあると思います。法律は、そのときの技術や社会などいろいろなものを反映して人間が作り、ある程度人間の社会の中で決まっていくものもあるので、10年単位、100年単位の大きな流れを見極めた上で、よく考える必要があります。(中島) 住基ネットのとき、危険だ、プライバシー侵害だとさんざん言われましたが、施行して以来約10年間で、漏れた情報はないので、マイナンバーも、十分に仕組みを知らない人が危険だと煽っているのも、また同じことが起こる可能性があります。(渡邊) 内部犯のリスクはどうしてもあるので、それに対する危機管理をしていかなければいけません。

9.労働者派遣法改正とIT産業
(中島) もう一つ、中小ソフト企業の切実な課題として労働者派遣法改正があります。これは従前の一般労働者派遣の基準値そのままになるのでしょうか。労働派遣法とIT産業の構造が合っていないという話は以前から



塚本 学
JASPA 経営支援委員長
首都圏ソフトウェア協同組合

フルマネージドVPNサービス

JASPA-NET

拠点間接続や、リモートアクセスに最適!!

- 素早く簡単にビジネスネットワークを運用できる。
- 固定IPの費用がかからない。
- 運用、メンテナンスも丸ごとお任せ。

● **拠点開設のらくらく運用に!**

会社の拠点展開に使えます。情シスの人員は限られているのでJASPA-NETにお任せ運用。

● **導入はとっても簡単!!**

事前のお打ち合わせや現地での設定作業は必要ありません。

Step ① 申し込んで

Step ② 接続したら

Step ③ すぐ使える

● **回線変更にも安心!!**

キャリア依存度“ゼロ”

現在契約している回線契約はそのまま利用。もし変更してもサービスはそのまま利用できます。

● **JASPA-NETならキャリア変更も変更なし**

「契約変更」NTTフレッツ → KDDI

他の拠点はそのまま継続

不要になったら返却するだけ

JASPA会員向けのサービスです!

JASPA事務局：お問い合わせ先はこちら→

TEL:03-3473-9822

メール：jaspajimu@jaspanet.or.jp

〒108-0074 東京都港区高輪 2-15-8 グレイスビル泉后寺前

http://www.jaspanet.or.jp FAX:03-5798-4180

沖縄県ソフトウェア事業協同組合

21世紀型ソフトウェア開発コア集団

代表理事 幸地 長秀

沖縄県那覇市久茂地 1 丁目 2 番地 20 号

TEL: 098-951-1844

URL:http://www.softokinawa.net/

(株) Okicom

(株)おきぎんエス・ピー・オー

Jdoc ソリューションズ(株)

(株)ソフトウェア・リンク

(株)クレスト

(有)グローコミュニケーション

(株)ダイワ・メディカル・システム

(有)コンピュータリサーチ

(株)サウス・ウインド・システム

小渡 玠

小那覇 勉

大城 健二

松長 健照

池原 稔

前里 耕司

大西 和男

金城 太

仲井間 宗邦

(株)国建システム

(有)ノアクラフト

(株)アイエヌジーアットマーク沖縄

(株)システック沖縄

(株)ソフトウェアファクトリー

(株) VLC

(株)イマジン

(有)アラタ

幸地 長秀

金城 忠

仲宗根 功

赤嶺 宏

比屋根 修

新城 浩一郎

佐久川 進

新田 純也

あったのですが、今回改正されて、またこの問題が浮上するのではないかと思います。もう法律は制定されましたが、3年間の執行猶予がありますから、JASPAもJISAも、相当大きなエネルギーで提言活動をすべきだと思います。

(渡邊) IT分野だけ分けて基準を定めることはできるのですか。

(横尾) もともと26業種分けてあったものが全部一緒になったので、可能性として、建築業界と同じようにIT基準法みたいなものを作れば話は別ですが、そうでなければ難しいでしょう。

10. 日本IT団体連盟に期待される役割

(太田) サイバーディフェンスリーグ、日本IT団体連盟の話に戻りたいのですが、われわれが今後活動していくに当たって、こういう動きをしてくれると経済産業省としては非常に助かるといったことがあれば、アドバイスををお願いします。

(渡邊) 例えば今だと、セキュリティについてのガイドラインを出そうとしています、皆さんにその啓蒙普及に協力していただければと思います。



一方で、役所の言っていることを伝えるだけでは経済産業局と変わりませんので、現場を見て足りないことや実態に合わなくなっていることなども、ぜひ教えていただきたいと思います。

(太田) 確かに、国力として、産業としてのITという観点からいろいろご提案を申し上げるという姿勢は、われわれも意識していかないといいません。

(渡邊) 皆さんが提案されたことは、行政機関がきちんと考えて政策にしますが、それを実際にするのはまた皆さんです。提案する以上は、はね返ってきて自分がすることになるので、それも踏まえての提案を、ぜひしていただきたいと思います。

(塚本) TPP関連で、われわれIT業界が国の施策も踏まえて一緒にやれる部分があればお聞きしたいのですが。

(渡邊) ITとTPPの関係を考えたことはありませんでしたが、確かに例えばサービスにしても、日本と違う制度の国でソフト開発をしようとする、問題があるかもしれません。

(鈴木) 今回のTPPは、IT系の部分は何も絡みがないのですか。

(渡邊) 基本的にはないでしょうね。もちろん自動車に載っている組み込みソフトが関税が撤廃されてどうなるか、組み込みソフトウェア



鈴木 勝博

JASPA 教育・人財委員長
首都圏ソフトウェア協同組合

にも原産地規則は適用されるのかといった議論はありますが、ソフトウェアはどこで誰が作っているのかよく分からないので、難しいですね。TPPとITの関係は、今まで意識したことがなかったので、調べてみましょう。

(中島) 今日の話をあえてまとめると、しばらくITのビジョンが見えなかったけれども、行政側でも、またIoTコンソーシアムも含めて、ビジョンづくりを検討し始めているし、業界の方でも団体が大同団結する雰囲気になって、民の側の顔が多少見えるようになってきているので、行政とともに新しい日本のITが大きく飛躍するようなビジョンを作っていきたいということになりますね。今日はありがとうございました。

■ JASPA フェア 2015 を開催しました

平成27年5月13日(水)第2回JASPAフェアを東京都品川区のゲートシティ大崎で開催いたしました。今回は、「セキュリティ対策とIoT」をメインテーマに4つの基調講演と会員各社のプレゼンテーション、展示コーナーと大変盛りだくさんの内容で、約240名ものお客様が来場され、大成功のうちに終了いたしました。

来場いただいた皆様、ありがとうございました。どの講演も旬な内容ばかりで、まさに「今、知りたい情報がここにある!!」といえるビッグイベントとなりました。

当日の基調講演内容は以下の通り、開催されました。

すべての基調講演は、JASPA中島洋会長がコーディネートいたしました。



会員各社のプレゼンテーション及び展示にて、以下の会社様にご協力いただきました。ありがとうございました。

【プレゼンテーション、展示協賛企業及び団体】 ●株式会社ユー・エス・イー ●株式会社TCSI ●メーカーカンパニー株式会社

●一般社団法人日本個人情報管理協会 ●東京システムハウス株式会社 ●JASPA-NET/GC-gate

【展示協賛企業及び団体】 ●株式会社ワンゴジュウゴ ●株式会社KDDI研究所 ●JASPA共済



●基調講演1
「企業とサイバーセキュリティ対策」
株式会社ラック
取締役CTO 西本逸郎様



●基調講演2
「マイナンバーの留意ポイントと
個人情報保護」
株式会社富士通総研経済研究所
主席研究員 榎並利博様



●基調講演3
「IoTにかかわるテクノロジーについて」
KDDI研究所
ネットワークセキュリティグループ
リーダー 窪田歩様



●基調講演4
「サイバーセキュリティ、
ソフトウェア企業への期待」
JPCERT
専務理事 早貸淳子様

■ 全国各地でマイナンバーセミナーを開催しました

いよいよ平成28年1月から利用が開始される「マイナンバー制度」が施行されます。マイナンバー制度施行に向けて、各企業はどう対応したらよいのか。不安を感じている企業も少なくないようです。そんな会員組合、企業へのサービスの一環として、JASPAでは、全国各地で各会員組合の希望に合わせてマイナンバーセミナーを開催しました。

7月16日(木)東京 講師：社会貢献・福利厚生委員会 中島啓吾氏

30名以上の受講者で会場はいっぱいになりました。(当日はNHKの取材も入りました。)

JASPA社会貢献・福利厚生委員の中島啓吾氏が社会保険労務士の立場から「一からわかるマイナンバー」ということで90分ほどの講演をさせていただきました。マイナンバーの背景、実務対応のやり方などを詳しく解説させていただきました。

8月6日(木)札幌 講師：日本個人情報管理協会 井元康次氏 受講者約10名

「マイナンバー制度の導入に向けた企業・団体の対応」というテーマで約1時間のセミナーを開催しました。事業者における準備として、平成27年度中に社員に周知徹底すること、また、平成27年度中に決めておくことなど、今、まさに何をしなければならぬかという内容で、大変好評なセミナーでした。

10月15日(木)大阪

講師：日本個人情報管理協会 内山和久氏 受講者27名

「マイナンバー制度の導入に向けた企業・団体の対応」というテーマで約2時間のセミナーを開催しました。事前に受講者より、マイナンバー施行に向けての質問事項をいただき、その内容を加味したうえでセミナーを開催したので、受講者の理解度は高いものとなりました。



INDEXグループ
INDEX Group

1STOP
ワンストップ

TOKYO

INDEX
Information Design Expert

OSAKA

INDEX
Information Design Expert

OKINAWA

INDEX
Information Design Expert

システムコンサルティング ゲーム企画・開発

Android システム開発 システム保守

ソリューションサービス iOS 業務改善

Webデザイン システム運用

クラウド運用サービス

体制型人材派遣サービス

ストレージサービス BPO

オフショアサービスコントロール

人材派遣者教育サービス

スーパーバイザーフォーラム

HTMLコーディング

ニアショア開発

サテライトオフィス

INDEX株式会社

http://www.index-biz.co.jp/

〒110-0005 東京都台東区上野3-17-7

G-SQUARE 上野4階

TEL : 03-6806-0773

FAX : 03-6806-0774

■ 自由民主党 IT戦略特命委員長 平井たくや議員による特別講演開催

平成27年5月14日(木)16:30～17:30、自由民主党 IT戦略特命委員長 平井たくや議員による特別講演「マイナンバーの未来」が東京都港区の笹川記念館で開催されました。

今もっとも話題となっている「マイナンバー」を政府の立場でお話しいただけるということで、多くの会員の皆様に参加いただきました。本講演では、インターネット社会は、インシデント前提の社会であること。それを踏まえ、今後のサイバーセキュリティ政策についてのあり方に関する提言をいただきました。

さらに、「マイナンバー」制度のきっかけともなった政府のITシステムの歴史に関するお話の中で、過去の国民番号での妥協が、消えた年金問題、政権交代という重い代償を払う結果となり、マイナンバーがいかに重要なのかを説明いただきました。

最後に、マイナンバー制度の3つの利活用(マイナンバー・法人番号そのものの利活用、個人番号カードの利活用、マイポータルの利活用)について、平井議員のプラン含め、詳細に説明いただきました。



■ 静岡県ソフトウェア事業協同組合創立30周年式典・祝賀会を開催しました

去る2月19日(木)、静岡県ソフトウェア事業協同組合(SSA)は、創立30周年を記念して、記念講演ならびに式典・祝賀会をホテルアソシア静岡において挙行了しました。

30周年行事に先立ち、恒例のJASPA運営委員会が同ホテルにて開催され、午後4時から記念講演に移りました。

「エネルギー改革が日本を救う」と題し、同名の著作の執筆に関わられた中島洋会長の記念講演は、ビジネスモデルがITと相似するという電力にまつわるお話で、これからの地域のあり方をも示唆する貴重なお話をいただきました。

当日参加された皆さんには、会長自らサインされた著書もお土産としてお持ち帰りいただきましたので、講演の内容を後日読みしめて読まれたことと思います。

講演終了後は、記念式典ならびに祝賀会が催され、JASPA中島会長ならびに横尾事務局長はじめ、静岡県中小企業団体中央会、静岡情報産業協会、地元専門学校、職業高校関係者のご来賓をはじめ、JASPAからは北海道から九州まで28名の皆様に遠路ご参集いただき、またSSA各社の代表者や社員の皆さんも含め総勢100名余となりました。

式典では、中島会長はじめご来賓のご祝辞と歴代(4代)理事長に対する感謝状贈呈などシンプルながらも厳かな雰囲気が進められました。

その後、横尾事務局長のSSAとJASPAのそもそもの馴れ初めについてのエピソードを交えての乾杯によって始まった祝賀会は、大道芸では今や全国に囃り響く統治静岡の大道芸人「あまる」さんのスリリングなパフォーマンスも会場に花を添え、和やかな雰囲気の中で祝宴が繰り広げられました。

皆様から数多くの祝福や激励の言葉を賜り、私たち静岡県ソフトウェア事業協同組合は、新たな時代を切り拓くための組織体制を目指して歩みを始めますので、今後ともJASPAとも緊密な連携体制で臨んで参りたく、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



■ 「IoTで変わる、広がるマーケット」をテーマにKT-NET総会を開催しました

平成27年10月7日、東京都品川区(品川フロントビル会議室)においてKT-NET総会を開催しました。

今回は「IoTで変わる、広がるマーケット」をテーマに、トヨタIT開発センター 大西良吉様、KDDI研究所 酒澤茂之様、神奈川工科大学 一色正男様にご登壇頂き、クルマ×IoTやWebデベロッパーの為の開発環境、HEMSの市場と新規参入事業者向けの支援活動等についてご講演頂きました。

また、講演では、展示協賛企業の中から3社にIoTに関連する製品サービスを紹介、懇親会会場では実物もご覧頂きました。

今回も多数の方にご来場頂き、大盛況のうちに終了する事ができました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。



【テーマ】「IoTで変わる、広がるマーケット」

【日 時】平成27年10月7日(水) 13:00～18:30

【場 所】品川フロントビル会議室(JR「品川駅」港南口より徒歩3分) 【参加数】132名

【主 催】東京システムハウス株式会社 KT-NET事務局

【協 力】株式会社KDDI研究所

■ 2015 日台ソフトウェア企業交流商談会報告

平成27年6月4日(木)は、台北市の台大病院国際会議中心にて、台北CISA主催の2015日台ソフトウェア企業交流商談会が開催された。

中島会長はスケジュールの都合で夜の懇親会からの参加となったが、JASPAからは総勢25名ものメンバーが参加した。

従来は、日本-台湾-中国による「新ゴールドトライアングル」構想を念頭においた交流会であったが、CISA理事長が代わったことで、内容も一変し、「Take Action」(立ち上がろう、行動しよう)をスローガンとした邸理事長色を出した交流商談会となった。

主催者挨拶では、CISA邱月香理事長に続き、呂正華經濟部工業局副局長の挨拶、さらに、日本来賓の挨拶では、林知之参事がKT-NET委員長の立場として挨拶した。

基調講演は、

- ・經濟部工業局電子資訊組 副組長 謝戎峰氏による「4G応用の台湾スマートライフ」
- ・工業技術研究院巨量資訊科技中心 副主任 鄭仁傑氏による「IoT分野とビッグデータの発展契機」

が行われた。

基調講演に続き、台湾の企業紹介、日本の企業紹介が行われ、台湾企業からは20社、日本企業からは13社のプレゼンテーションがあった。

各社ともこのプレゼンテーションを通じて、日台間の連携を深め、新たなビジネスに繋げるきっかけにしようという意欲が感じられ、その後行われた商談会では、各ブースとも各社に興味を持った多くの人が訪問し、活発な商談が行われた。



■ CEATEC JAPAN 2015 ～ パネルディスカッション開催

「CEATEC JAPAN 2015」にて、「明日のIT政策とソフトウェア産業を考える～IT関連団体の役割と共通の課題～」が開催され、中島会長が登壇し、以下の内容で討論しました。

日程：10月9日(金) 13:00～14:30

会場：幕張メッセ 国際会議場コンベンションホールB

企画：JASPA、CSAJ、ANIA、JIET各団体代表者によるパネルディスカッション

登壇者：JASPA 中島洋会長、CSAJ 荻原紀男会長、ANIA 長谷川亘会長、JIET 酒井雅美理事長

1. 日本のソフトウェア製品・サービスはジャパंकオリティーと言われるように品質には定評がある。しかし輸出比率は極めて低い。
これは海外からの製品を積極的に受け入れ、紹介、また、バーターで日本プロダクトを提供していく団体がまとまっていない。一本化されれば海外からも見えやすい存在となる。
2. エンジニア不足が叫ばれる中、業界として次代を担う若者育成のための活動が不足している。
政官一体となってIT教育を推進し、セキュリティ観念を備えたITリテラシーの高い子供たちを養成するのは急務である。
これは是非、一体となって取り組みたい。
3. IT政策がいくつもの省庁にまたがり、後追い政策になっている。
これは単に官の責任のみではなく、それに呼応して民もばらばらになった結果である。また、ITに関連する法案が成立する前に、業界にとって不利になる事象はまとまって意見を上申する必要がある。

まとめとして

日本国のIT政策をさらに推進するにあたり、民間はその受け皿を一つにすることが重要であり、いよいよ日本IT団体連盟設立へのスタートが切られました。



■ HISCO 第12回 IT 経営改革フォーラムを開催しました

平成27年10月14日(水)にハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合主催の「第12回IT経営改革フォーラム」が開催されました。今回は、会場を初めてグランフロントに変えての開催でした。また、これまでは関西支部のイベントとして開催していましたが、今回はALL-HISCOで力を合わせての開催とし、充実した内容になりました。約200名もの皆さまにご参加いただき、協力頂きましたスポンサー様のパネル展示も行い、有意義な情報発信ができたと考えています。
尚、当日のプログラムは、以下の通りです。

HISCO理事長挨拶 ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事長 川井利通氏

来賓挨拶 総務省 近畿総合通信局 局長 上原 仁氏

基調講演 『ICTの5年10年後の展望』

総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 課長補佐 田淵雄一郎氏

講演 『ウェアラブルの拓く未来』 神戸大学大学院 工学研究科 教授 塚本昌彦氏

講演 『G空間×IoTのミライ』 立命館大学 情報理工学部 教授 西尾信彦氏

講演 『デジタルメディア最前線 街と人と情報の関わり方』

一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 常務理事 江口靖二氏

パネルディスカッション 『IT企業がなすべき、5年10年後の未来への展望』

モデレータ：JASPA会長/MM総研代表 中島洋氏

パネラー：上記講演者4名



RJC 株式会社RJC

インフラ設計・構築

ITインフラ(ネットワーク・サーバー)の設計～構築までを行います。

BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

IT部門が抱える問題を弊社が解決。負荷の軽減を図ります。

RJCはお客様により添ったサービスをご提案いたします。

運用・保守

お問い合わせの受付から障害の切り分け、ハード・ソフトを含めたシステム保守をワンストップで実現します。

アプリケーション開発

業務システムのアプリケーション開発を行います。組込型の開発も手掛けています。

ソリューション

システム導入の企画・コンサルティングからPCのインストール・設定などのキッティング業務まで幅広く対応致します。

〒177-0044
東京都練馬区上石神井2-27-2
株式会社RJC
03-5903-8119



静岡県ソフトウェア事業協同組合

理事長 成川 秀樹

静岡県内をネットワークするプロフェッショナル IT 企業 31 社

(株) アイ・システム (株) アイズ・ソフトウェア (株) アイティエス (株) ITSコア
(有) アイ・プランニング (株) アイ・ブロード (株) アクシス (株) アドバンスシステムソフト (株) アムロ
インターナショナルシステムズ (株) FKC(株) (株) エムシーキューブ (株) ガーデンソフト
(株) 建設システム 首都圏コンピュータ技術者(株) (株) システムオリジン (株) ジープロシューマーズ
(株) スギナシステム (株) ステップコム (株) 第一システムプロダクト (株) ティージェイエス
(株) 電算インフォメーション (株) 東海ソフトウェア (株) 東報 TOSEI(株) (株) 富士フォーチュン
(株) モアソングジャパン (株) ユニテック (株) ラ・ドゥ ランアンドケントス(株) (株) ワークノアート



「人は石垣、人は城、真実一路、不器用集団」

S O C 株式会社

代表取締役 朝倉 幹雄

事業内容：ソフトウェア開発 / ITソリューション提供 / IT人材育成 / ECサイト運営

拠 点：札幌本社ビル・第1ビル・第2ビル(厚別区テクノパーク) /
札幌開発センター(白石区) / 東北支社(郡山市) / 東京支社(浜松町)

SOCグループ会社：SOC総合研究所 / SOCパートナーズ / SOC経緯 /
SOCソリューションズ / SOCブルーイング

SOC札幌本社ビル 〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-12 / TEL: 011-807-1100 / FAX: 011-807-6362

ミキモール新規会員登録中！(登録無料)



北海道の魅力をお届けするネットショップ
<http://www.mikimall.jp/>

ミキモール

検索

会員登録後、初めてご利用のお客様は送料無料！

マイナンバー対応は 人づくりがポイント！

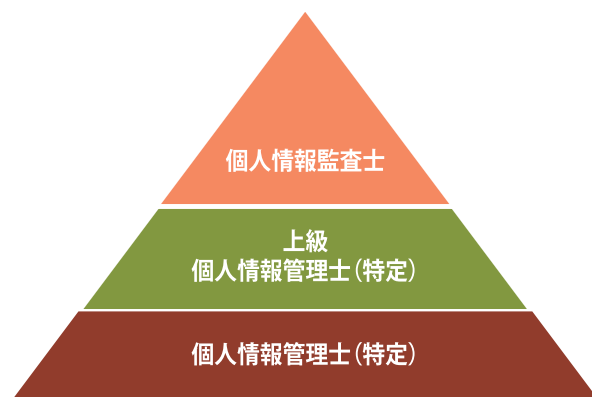
マイナンバー制度対応の人材育成 個人情報管理士（特定）養成講座

- ・番号法とガイドラインへの対応
- ・具体的対応手順・制度の構築
- ・改正個人情報保護法への準備



個人情報管理士育成事業

個人に対して、個人情報の適切な取り扱いと安全管理についての正しい知識をもち、業務においてその有効活用や管理運用を実践できる人材を育成し、認定する。



個人情報管理士（特定）試験
7.5時間コース

6時間講習 + 1.5時間試験

39,000円 (税抜)テキスト代込

上級個人情報管理士（特定）試験
12.5時間コース

11時間講習 + 1.5時間試験

85,000円 (税抜)テキスト代込

個人情報保護・情報セキュリティ研修
金額は個別に見積

JAPiCOマーク認証事業

企業に対して、個人情報保護法を理解して、その保護のためのマネジメントサイクルが構築されていることを認証する。

ビジネス機会の獲得
企業の信頼・信用・入札

増大するマイナンバー時代のリスク
回避策はリテラシー向上と仕組造り

取組易い料金体系
分かり易い個人情報保護・管理

安心運用を支えるサポート
保護・活用・運用局面を支援



JAPiCOマークの申請・審査・諸費用

小規模(2~20人)
210,000円(税抜)

中規模(21~300人)
370,000円(税抜)

大規模(301人~)
500,000円(税抜)

一般社団法人 日本個人情報管理協会 Japan Foundation for Private Information Conservation Organization

〒108-0074 東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前

Tel 03-4415-2031 Fax 03-4415-2032 e-mail:japico@japico.or.jp URL:http://www.japico.or.jp

特集②

22世紀フォーラム及び各専任委員会の紹介

JASPA専任委員会の紹介

(全国ソフトウェア協同組合連合会)

連合会の社会貢献活動および会員の為に必要な共同事業や
会員の経済活動を支援するための専任委員会の概要、目的と具体的な活動を紹介します。

JASPA 22世紀フォーラム

概要・目的

JASPAの理念を承継し、更なる発展成長を目的とした若手経営者を中心の組織が
2014年より本格的活動を開始した。

【JASPA理念】・技術力や経営基盤の強化 ・社会的信頼の向上 ・情報社会の発展に貢献

活動内容

22世紀フォーラムを構成する各委員会の活動支援及び、22世紀フォーラム全体の運営及び事務局を担当する。

2015年の活動実績

毎月第一木曜(JASPA 運営委員会前週木曜)を基本として、22世紀フォーラム連絡会議を開催し、各委員会の活動報告やイベントの企画などを討議した。JASPA 事務局の泉岳寺を基本に会議を行っているが、地方会員の為に Web会議システム(GCgate)を活用して当日集合できない会員や地方会員の参加を支援した。各委員会の報告の通り、賀詞交歓会、JASPA フェアをはじめ、数多くのイベントを企画運営支援を実施した。

メンバー 2016年1月1日現在

名 前	所 属 委 員 会	所 属 組 合/組 織
青谷 哲也	会長/経営支援	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
林 知之	代表幹事/ビジネス推進	埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET
太田 貴之	幹事/交流委員長/社会貢献・福利厚生	宮城県ソフトウェア事業協同組合
櫻井 多佳子	幹事/社会貢献・福利厚生委員長/広報	首都圏ソフトウェア協同組合
塚本 学	幹事/経営支援委員長/教育・人財	首都圏ソフトウェア協同組合
秋田 忠之	幹事/ビジネス推進委員長/経営支援	首都圏ソフトウェア協同組合
鈴木 勝博	幹事/教育・人財委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
堀越 正	経営支援副委員長/教育・人財	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
平川 学	教育・人財/ビジネス推進副委員長/広報	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
中島 啓吾	交流副委員長/社会貢献・福利厚生	首都圏ソフトウェア協同組合
田井中 友香	社会貢献・福利厚生/広報副委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
伊藤 整一	幹事/交流副委員長	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
實石 貴久	教育・人財副委員長	静岡県ソフトウェア事業協同組合
河原 健光	交流	北海道ソフトウェア事業協同組合
丹野 尚弘	交流	宮城県ソフトウェア事業協同組合
重富 良平	交流	宮城県ソフトウェア事業協同組合
原口 一孝	広報、交流	埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET
中井 大空	ビジネス推進	埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET
安齋 輝雄	ビジネス推進	電算ソフトウェア協同組合
木下 賢司	ビジネス推進	ソフトウェア事業協同組合
山藤 武志	広報	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
福原 智	教育・人財/広報	首都圏ソフトウェア協同組合
伊与 徹也	ビジネス推進/広報	首都圏ソフトウェア協同組合
通事 政章	交流	首都圏ソフトウェア協同組合
郡司 良男	経営支援	首都圏ソフトウェア協同組合
神崎 浩二	経営支援	首都圏ソフトウェア協同組合
小口 日出彦	交流	グリーン IT 協同組合
伊集院 一人	ビジネス推進	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
高橋 博幸	広報/ビジネス推進	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
高畑 道子	社会貢献・福利厚生	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
奥出 邦且	交流	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
柳澤 智幸	経営支援	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
明神 浩	交流	テレコムサービス協会
近森 満	教育/人財	コンピュータソフトウェア協会
石井 雄二	交流/ビジネス推進	KT-NET
守田 徹	顧問/広報委員長	グリーン IT 協同組合

経営支援委員会

概要・目的

JASPA 参加組合会員各企業の経営に役に立つ情報を提供し、メリットを提供することを主たる目的とする。

活動内容

- (1)助成金獲得支援
- (2)資金繰対策ノウハウ共有(商工会の有効利用方法など)
- (3)各士業(弁護士、医師、税理士など)協会との連携を強化し、中小企業経営に有意義な関係を作る。
- (4)オフショア・ニアショア開設支援及び業者紹介
- (5)内部統制対策支援
- (6)経営相談

2015年の活動実績

- ・一般社団法人テレコムサービス協会ーICT ビジネス研究会主催ビジネスモデルコンテストの共催活動
- ・新銀行東京と JASPA 向け優遇融資サービスの契約締結
- ・オリックス社振込サービス Flico を JASPA で利用できるための契約締結
- ・助成金セミナーの開催

メンバー

委員長 : 塚本 学(首都圏ソフトウェア協同組合)
 副委員長 : 堀越 正(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
 委員 : 秋田 忠之(首都圏ソフトウェア協同組合) 青谷 哲也(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
 郡司 良男(首都圏ソフトウェア協同組合) 神崎 浩二(首都圏ソフトウェア協同組合)
 柳澤 智幸(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

ビジネス推進委員会

概要・目的

所属会員のビジネス事業を助力・促進することを目指し、商品・人材・案件・購買等とビジネスに関わる情報を会員と共有し、相互に利用できる機会とノウハウを提供する。

活動内容

- 1)会員製品商材・ソリューション共有 2)先端技術共有(KDDI 研究所) 3)展示会・セミナー企画、運営
- 4)共同受注サポート 5)営業情報、案件情報共有 6)入札情報サービス提供 7)会員情報共有

2015年の活動実績

- 1)会員製品商材 ・ソリューション共有 ・組合所属会社へのアンケート実施、情報収集。
 ・WEB 会議システムを組合所属会社へ提供し、販売仲介(複数社利用)。
- 2)先端技術共有(KDDI 研究所) ・年4回のセミナーを泉岳寺組合事務所にて実施、組合員へ情報提供。
- 3)展示会・セミナー企画、運営 ・5月に JASPA フェアを開催。12月に CSAJ との共催セミナーを開催。
- 4)共同受注サポート ・共同受注の仕組みを構築し、JASPA 運営委員会にて、各地域組合へ説明を実施し、利用の奨励。
- 5)営業情報、案件情報共有 ・SES 情報提供用のサイトを構築、提供。
- 6)入札情報サービス提供
 ・民間情報提供サービスと契約し、組合所属会社へ情報提供を実施。組合所属会社の入札受注へ寄与(複数社利用)。

メンバー

委員長 : 秋田 忠之(首都圏ソフトウェア協同組合)
 副委員長 : 平川 学(中央イメージテクノロジー研究開発協同組合)
 委員 : 伊集院 一人(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合) 高橋 博幸(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
 林 知之(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET) 伊与 徹也(首都圏ソフトウェア協同組合)
 木下 賢司(ソフトウェア事業協同組合) 安齋 輝雄(電算ソフトウェア協同組合)
 石井 雄二(KT-NET) 中井 大空(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET)

教育・人財委員会

概要・目的

JASPA 参加組合の会員企業における経営上の最大課題は良い人財の確保と人財育成である。中小 SI 事業者として大企業と対等レベルで求人活動を行うために、組合の規模を活かした共同求人活動を行い、良い人財をリーズナブルなコストで確保していく。また、SES 事業や派遣事業という事業構造の中で、いかにして自社の人財育成を図っていくか。この委員会ではこの課題を克服して、JASPA 参加組合全体で人財育成を図っていく仕組みづくりを行っていく。さらに、上記活動において行政機関との関係を図り、さまざまな助成金の利活用を図っていく。

活動内容

- 1)組合の規模を活かした人財確保活動(共同求人活動)
 (ア)組合内の共同求人活動の組織化・システム化 (イ)各種教育機関(大学・高校・専門学校)とのネットワークの構築
 (ウ)広報委員会等と連携した「共同求人」としての広報活動 (エ)学生・求職者を対象にした「共同求人」イベントの企画・開催・運営
 (オ)厚生労働省・東京都をはじめとした各地方行政機関とのネットワーク構築 (カ)インターンシップ制度の構築と受け入れ・コーディネート活動
 (キ)ソーシャル・ネットワークを活用した求人活動の研究開発
- 2)組合内の協働関係を活かした人財育成・開発活動
 (ア)組合内共同研修活動(内定者研修・新人研修・階層別研修・幹部社員研修・経営者研修等々)
 (イ)組合内人事制度・教育制度構築活動・キャリアパス・キャリアフレームワーク・人事評価(コンピテンシーおよびパフォーマンス評価)制度研究開発・構築活動
 (ウ)幹部社員および後継者育成・登用制度(サクセッションプログラム)の研究開発・構築活動 (エ)各種助成金申請・給付サポート活動
 (オ)在宅ワーク・テレワーク・クラウドソーシング環境における人財育成・開発活動 (カ)各種研修企業の e-Learning システムの調査・分析・評価
 (キ)OJTにおける人財育成方法の調査・研究。新しいOJT方法の研究開発
- 3)分散ネットワーク環境における人財データベースの研究開発

メンバー

委員長 : 鈴木 勝博(首都圏ソフトウェア協同組合)
 副委員長 : 實石 貴久(静岡県ソフトウェア事業協同組合)
 委員 : 塚本 学(首都圏ソフトウェア協同組合) 福原 智(首都圏ソフトウェア協同組合)
 平川 学(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合) 堀越 正(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
 近森 満(コンピュータソフトウェア協会)

社会貢献・福利厚生委員会

概要・目的

組合企業の一人一人が、すこやかに仕事出来る環境を提供することで、各組合の活性化を支援する。各地域に存在する組合のネットワークを駆使し、ITを通じて社会への貢献を目指す。

活動内容

- 1)障がい者雇用、障害者協会などへの仕事の依頼。
- 2)シニア技術者への雇用機会拡大、女性のワークバランスの見直しなどの強化。
- 3)メンタルヘルスケア。
- 4)JASPA 共済。
- 5)その他、年金、健保、など福利厚生強化。

2015年の活動実績

今年度は、メンタルヘルスケアセミナー、障がい者雇用に関してはセミナーと雇用に積極的に取り組んでいる企業の見学会等を行いました。また障がい者の書道家へ仕事の依頼やメッセージカードの販売も行っています。今後は、テレワーク、JASPA 共済(加入者を増やす)、福利厚生強化に取り組んでいきます。

メンバー

委員長 : 櫻井 多佳子(首都圏ソフトウェア協同組合)
 委員 : 田井中 友香(首都圏ソフトウェア協同組合)
 太田 貴之(宮城県ソフトウェア事業協同組合、電算ソフトウェア協同組合)
 中島 啓吾(首都圏ソフトウェア協同組合)
 高畑 道子(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

交流委員会

概要・目的

会員組合間の交流や会員組合傘下企業の経営者・社員間の交流、また政府・官公庁や他協会・海外企業との交流を通して、会員組合への情報提供や組合活動の活性化を支援する。

活動内容

1) 会員交流の企画、開催 2) 政府・官公庁との交流 3) 他協会との交流 4) 海外企業・団体との交流

2015年の活動実績

- 1) JASPA 参画企業や他協会との情報交換や、イベントの開催
 - ① JASPA 内イベント・若手社員交流会の開催
 - ② 一般社団法人テレコムサービス協会 ・ビジネスモデルコンテストの後援 ・金沢企業視察会の共催
- 2) 他協会(以下記載)との相互入会を実施(または手続き中)
 - ・非特定営利活動法人 I T コーディネータ協会 (I T C A)
 - ・非特定営利活動法人日本情報技術取引所 (J I E T)
- 3) 官公庁(経済産業省)や地方自治体との情報交換を実施
- 4) 海外視察会の開催
 - ・日台 IT ビジネスアライアンス交流会 2015 への参加
 - ・CodeBali2015(セキュリティカンファレンス)への参加

メンバー

委員長：太田 貴之(宮城県ソフトウェア事業協同組合)	伊藤 整一(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
副委員長：中島 啓吾(首都圏ソフトウェア協同組合)	丹野 尚弘(宮城県ソフトウェア事業協同組合)
委員：河原 健光(北海道ソフトウェア事業協同組合)	原口 一孝(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET)
重富 良平(宮城県ソフトウェア事業協同組合)	小口 日出彦(グリーン IT 協同組合)
通事 政章(首都圏ソフトウェア協同組合)	明神 浩(テレコムサービス協会)
奥出 邦且(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)	石井 雄二(KT-NET)

広報委員会

概要・目的

連合会の意義、活動を内外に広く報じて認知、理解を図り社会、業界の発展に貢献する。
会員組合および加盟組織間の意思の疎通と情報の共有を促進し会員組織の事業の活性化を促す。

活動内容

- 1) 連合会の目的、存在、活動を広報し認知度を上げ信頼を得て業界の発展に尽くす。
- 2) 連合会の会員特典の認知や会員間の情報の共有によりコミュニケーションの促進と会員の発展に寄与する。
- 3) 会報誌、WEB 会報誌 (HP)、メールニュースなどの広報メディアを活用し情報の共有を図る。
- 4) マスメディアを通じて連合会の活動をリリースして存在の認知と理解を図る。

2015年の活動実績および 2016年度活動計画

- 1) 広報メディアの編集、更新、発行。
 - ① JASPA 会報誌(2015 年度・年刊)の企画、編集、発行。
 - ② WEB 会報誌(月刊、HP)の更新、発行。
 - ③ メールニュース(随時)の発行。
- 2) 広報メディア(3 媒体)による連合会、各専任委員会のイベント(賀詞交歓会、JASPA フェア、総会、セミナーなど)の開催告知や集客、広報。
- 3) 広報メディアによる会員組合、加入会員、協賛団体の活動状況および開催イベント、セミナー、人事情報などの告知、集客、広報。
- 4) 連合会の概要パンフレットの編集、印刷、制作。
- 5) 開催セミナー(マイナンバーセミナーなど)の DVD 化(編集、発行)。
- 6) 連合会会員の特典(JASPA 共済、JASPA-NET、WEB 会議システム・GCgate)の認知、販促広報。

メンバー

委員長：守田 徹(グリーン IT 協同組合)	山藤 武志(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
副委員長：田井中 友香(首都圏ソフトウェア協同組合)	伊与 徹也(首都圏ソフトウェア協同組合)
委員：櫻井 多佳子(首都圏ソフトウェア協同組合)	原口 一孝(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET)
福原 智(首都圏ソフトウェア協同組合)	
*22CF メンバーの広報委員のみ掲載。	

About JASPA

全国ソフトウェア協同組合連合会の概要

「全国ソフトウェア協同組合連合会」は、中小企業等協同組合法第 27 条の 2 の第 4 項に基づき、1996 年 1 月 25 日に通商産業大臣より設立認可(7 機第 1480 号)を得て、1996 年 2 月 20 日に設立し、20 年の実績を持つ中小企業の為の組織です。

地域を超えた交流、最先端の技術やサービスについて共同研修、情報共有、さらに IT 業界の発展の為の政界、官界、業界団体との情報交換や提言など、若手経営者を中心に取り組んでいます。
2016 年 1 月現在の会員数は 15 組合、7 団体。

北海道ソフトウェア事業協同組合
宮城県ソフトウェア事業協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
ソフトウェア事業協同組合
中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合

青森県ソフトウェア協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
グリーン IT 協同組合
電算ソフトウェア協同組合
Y R P 情報産業協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
広島県西部情報サービス協同組合

K T - N E T
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

JASPA概要

全国ソフトウェア協同組合連合会(略称：JSPA)は、中小のソフトウェア業の発展のために通商産業(現経済産業省)大臣より設立認可を得て、1996年2月20日に設立し、今年で20年を迎えました。

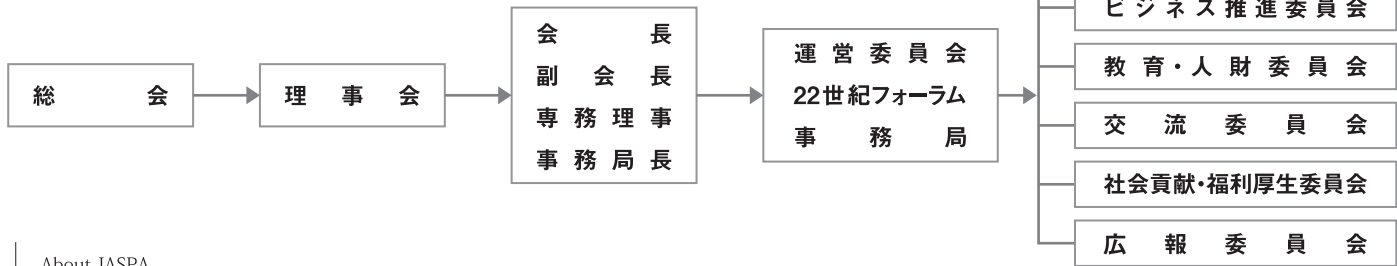
現在の会員数は北海道から沖縄までの15組合(会員企業約300社)および賛助会員7団体を有する全国NETの組織に拡大、発展しました。

＜概要＞		
名 称	全国ソフトウェア協同組合連合会（JASPA：Japan Software Party Association）	
所 在 地	東京都港区高輪 2-15-8 グレイスビル泉岳寺前	
設 立	平成8年2月	
経済産業省認可	7機第1480号	
出 資 金	3,500千円(1口50,000円)	
加 入 団 体	全国中小企業団体中央会 一般社団法人日本テレワーク協会 一般社団法人テレコムサービス協会 一般社団法人日本個人情報管理協会 特定非営利活動法人日本情報技術取引所	
	一般社団法人情報サービス産業協会 一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 地域活性学会	

役 員

会 長	中 島 洋	(首都圏ソフトウェア協同組合 理事)
副 会 長	朝 倉 幹雄	(北海道ソフトウェア事業協同組合 理事長)
専務理事	小 幡 忠信	(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事)
理 事	齋 藤 光仁	(埼玉ソフトウェア事業協同組合 理事長)
理 事	木 村 裕	(宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
理 事	佐々木賢生	(電算ソフトウェア協同組合 監事)
理 事	吉 弘 京子	(ソフトウェア事業協同組合 副理事長)
理 事	太 田 貴之	(宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事)
理 事	成 川 秀樹	(静岡県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
理 事	平 川 学	(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合 理事長)
監 事	小 渡 玠	(沖縄県ソフトウェア事業協同組合 理事)
監 事	眞 杉 幸市	(首都圏ソフトウェア協同組合 理事長)
参 事	青 谷 哲也	(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事)
参 事	林 知之	(埼玉ソフトウェア事業協同組合 理事、KT-NET 委員長)

名誉会長	向 浩一	(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 相談役)
顧 問	石 井 一二	(首都圏ソフトウェア協同組合 顧問)
顧 問	岡 積 正夫	(グリーン IT 協同組合 理事)
顧 問	木 村 俊昭	(地域活性学会 理事)
顧 問	石 渡 辰夫	(静岡県ソフトウェア事業協同組合 理事)
顧 問	安 達 幸詔	(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合 理事)
事務局長	横 尾 良明	(首都圏ソフトウェア協同組合 最高顧問)



About JASPA

Board of directors

事 業 内 容

当連合会は、各地の組合が取り組む「共同受注」「共同研修」「技術者と仕事のマッチング」などのノウハウの交換、さらに連合会の主催による「海外事情の視察」や「海外企業とのビジネス交流会」「有力情報通信技術研究機関との先端技術情報研究会」「政界、官庁、業界幹部をお招きする交歓会」「経済産業省幹部との意見交換会」などを実施し、成果をあげつつあります。各組合およびその加盟企業と連携して、ソフトウェア業界の活性化と会員組合および加盟企業の発展につくしております。

JASPA 会員の特典

全国のソフトウェア業にて構成する当連合会の会員は各地で開催する運営委員会(月例)にて情報交換、共有が図れるとともに、各専任委員会(経営支援、ビジネス推進、交流、教育・人財、社会貢献・福利厚生、広報)の活動により企業経営に於いて必要な様々な支援を受けることができます。

〔経営支援〕

連合会の各組合、加盟企業などの経営情報やネットワークを利用して会員企業への経営に役に立つ情報を提供し、それぞれの経営課題(事業、資金、営業、業務管理)などをサポートする。

①助成金、補助金獲得支援 ②資金対策ノウハウ共有(商工会の有効利用方法など) ③各士業(弁護士、税理士、社労士など)との連携を強化し経営に有意義な関係を作る ④オフショア・ニアショア開設支援 ⑤内部統制対策支援 ⑥経営相談

〔ビジネス推進〕

ビジネス事業を助力・促進することを目指し、商品・人材・案件・購買等とビジネスに関わる情報を共有し、相互に利用できる機会とノウハウを提供する。

①会員製品商材・ソリューション共有 ②先端技術共有 ③展示会・セミナー企画、運営 ④共同受注支援 ⑤営業情報、案件情報共有 ⑥入札情報サービス提供 ⑦会員情報共有

〔交流、渉外促進〕

加盟組合、会員企業の経営者、社員の交流、政官界や業界団体と交流ならびに海外企業との交流を通して、情報共有と会員企業の活性化を支援する。

①各地にて開催する運営員会において各組合、会員間の情報交換 ②官公庁(経済産業省、商務省)や政府 I T 戦略担当議員との交流、地方自治体などとの情報交換を実施 ③他協会との相互入会による情報交換 ④海外視察会の開催(日台 IT ビジネスアライアンス交流会 2015 への参加、CodeBali2015(セキュリティカンファレンス)への参加)など海外企業との交流促進

〔教育・人財育成〕

会員企業の経営上の重要課題である人財の確保と人財教育を支援する。中小 SI 事業者として人財確保のために、連合会の規模を活かした共同求人活動を行い、良い人財を効率的なコストで確保していくとともに、参加組合全体で人財育成の仕組みづくりを構築する。

①組合の規模を活かした人財確保活動(共同求人活動) ②各種教育機関(大学・高校・専門学校)とのネットワークの構築 ③学生・求職者を対象にした「共同求人」イベントの企画・開催・運営 ④厚生労働省・東京都をはじめとした各地方行政機関とのネットワーク構築 ⑤組合内の協働関係を活かした人財育成・開発活動 ⑥教育セミナーの開催(新人研修・階層別研修・幹部社員研修など) ⑦各種助成金申請・給付サポート活動

〔社会貢献・福利厚生〕

組合企業の福利厚生面での施策などの指導、支援。組合企業の一人一人が、すこやかに仕事出来る環境を提供することで、各組合の健全な発展をサポートする。さらに業界の代表的な団体として組合のネットワークを駆使し、IT を通じて社会への貢献を目指す。

①障がい者雇用、障がい者協会などへの仕事の依頼 ②シニア技術者への雇用機会の拡大、女性のワークバランスの見直しなどの強化 ③メンタルヘルスケア(障がい者雇用セミナーなどの開催) ④連合会独自の共済制度(JASPA 共済)による不測の事態に備えての共済支援 ⑤年金、健保など福利厚生の強化

〔広報・宣伝〕

加盟組合、企業の活動を内外に広く報じて認知、広報を図り会員の発展に貢献する。

会員組合および加盟組織間の意思の疎通と情報の共有を促進し会員組織の事業の活性化を促す。

①加盟組合、企業の業務内容、技術、サービスを広報し認知度を上げ信頼を得て企業経営の活性化を図る ②会報誌、WEB 会報誌(HP)、メールニュースにより会員企業の事業案内、ソフトウエア、案件獲得などに活用する ③会報誌、WEB 会報誌(HP)、メールニュースにより会員企業の開催するセミナーやイベントの告知、集客に利用する ④連合会の広告媒体(会報誌、WEB 会報誌)に広告掲載(有料)することにより全国の各組合、加盟企業や関係団体、官公庁への広告・販促が期待できる



連合会の活動実績



賀詞交歓会及び特別講演会
毎年1月に、特別講演会及び賀詞交歓会を盛大に開催しています。



運営委員会及び懇親会
12月を除く毎月、各会員組合主催により、全国各地で運営委員会（理事会）及び懇親会を開催しています。



スポーツ大会
運営委員会の翌日に、参加者の懇親を目的としたスポーツ大会を開催しています。



JASPA フェア
毎年5月に、22世紀フォーラム主催によるJASPAフェアを開催しています。毎回、ホットなテーマによる講演を開催しています。



通常総会
毎年5月に、通常総会を開催しています。



日台ソフトウェア企業交流商談会
毎年6月に、海外交流の一環として、日台ソフトウェア企業交流商談会に参加しています。



経済産業省 商務情報政策局
情報処理振興課 課長との座談会
毎年11月に、経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長をお招きし、経済産業省の重点テーマ或いは、ソフトウェア産業が抱える諸問題について議論を交わしています。



各種セミナーの開催
マイナンバー、サイバーセキュリティ、IoTなど、今話題のセミナーを随時開催しています。

JASPA 会員組合

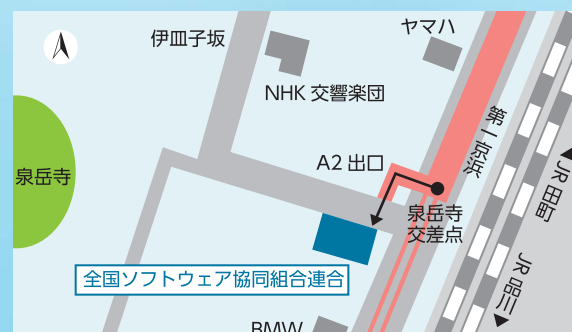
北海道ソフトウェア事業協同組合
青森県ソフトウェア協同組合
宮城県ソフトウェア事業協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
グリーン IT 協同組合
ソフトウェア事業協同組合
電算ソフトウェア協同組合
中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
YRP 情報産業協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
広島県西部情報サービス協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
(賛助会員)
KT-NET
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

理事長 朝倉 幹雄
理事長 長内 陸郎
理事長 木村 裕
理事長 齋藤 光仁
理事長 眞杉 幸市
理事長 守田 徹
理事長 磯崎 澄
理事長 安齋 輝雄
理事長 平川 学
理事長 水野 堅市
理事長 成川 秀樹
理事長 川井 利通
理事長 角谷 幸夫
理事長 岩山 明憲
理事長 幸地 長秀

委員長 林 知之
会長 長谷川 亘
会長 是枝 伸彦
理事長 中島 洋
会長 安田 浩
会長 荻原 紀男
理事長 酒井 雅美

JASPA

■事務局所在地
〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号グレイスビル泉岳寺前
TEL: 03-3473-9822 FAX: 03-3446-4180
E-mail: jaspajimu@jaspanet.or.jp
事務局: 鷹羽 和利



※都営地下鉄浅草線「泉岳寺駅」すぐ。

Achievements

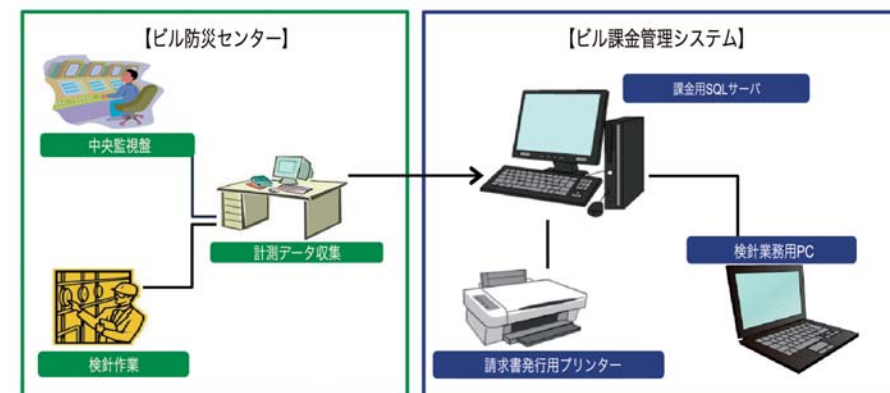
課金業務効率化の切り札！

ビル課金管理システム

商業・オフィスビル
B1-PC
ビル課金管理システム

ビル設備の
省エネ運転を
応援いたし
ます。

パソコンでテナント向け個別請求業務処理が可能



NSS 日本システムスタディ株式会社
創業1976年（問い合わせ担当）営業部 花田・中島 info2@nss-net.co.jp
<http://www.nss-net.co.jp> TEL 092-262-4001 FAX 092-262-4003

〒812-0037
福岡市博多区御供所町1-1
西鉄祇園ビル9F
eco

コスト削減

売上げの向上

業務効率化



パソコン、タブレット、スマホからでもインターネット環境さえあれば、
映像、音声、資料を使ったコミュニケーションが簡単に行えます！

利用シーンは多種多様！

- ・拠点間会議
- ・海外の工場との検品
- ・お客様との打ち合わせ
- ・面接／面談
- ・社内研修
- ・朝礼
- ・テレワーク（在宅勤務）
- ・お客様サポート
- ・ペーパーレス会議
- ・技術者の遠隔同行
- ・電話＋資料共有
- ・他にも活用方法は多数！

<JASPA会員特別価格>

初期費用

10,000円

会議室使用料

月額 6,250円～

【問合せ先】JASPA事務局 03-3473-9822

JASPA会員組合の紹介コーナー

NEWS

東西南北レポート

北は北海道、南は沖縄まで全国に広がる
JASPA会員をご紹介します



北海道ソフトウェア事業協同組合

理事長 朝倉 幹雄

北海道という地の利と豊富で優秀な人材、そして、要求品質に答えてお客様の満足度向上に貢献するため、既存ビジネスの拡大と新規ビジネスの開拓に取り組み、組合員相互の発展を目指します。

皆様方のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

会員企業	(株)アイティエス札幌事業所	(株)ヴァックスラボ
	(株)エクサネット	SOC(株)
	SOC総研(株)	SOCパートナーズ(株)
	(株)シーエスアイ	システムデザイン開発(株)
	ジンコーポレーション(株)	日本SE(株)北海道支店
	(株)ハルソフト	(株)メディア・マジック

理事長 朝倉幹雄 副理事長 佐藤光一、杉本恵昭
理事 石渡辰夫、菅野 満、里見英樹
監事 古谷雅代、木下秀美 事務局長 越智清雄

住所 〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1-1-12
TEL 011-899-6211 FAX 011-899-6212
http://www.socnet.jp/hsc

青森県ソフトウェア協同組合概要

このたび「青森県ソフトウェア協同組合」を設立し、コンピュータシステムの開発・作成等の共同受注による新規顧客、大口顧客の開拓を行うことで、組合員各社の収益アップを目指し また、新しい技術・研究開発および教育・情報提供事業を行い、日々変化する業界の最新動向を組合員各社に提供し、正しい動向判断による競争力強化を図ることを目標といたします。

■青森県ソフトウェア協同組合員紹介

理事長	長内 睦郎	(マルマンコンピュータサービス株式会社 代表取締役)
		http://www.mcs-kk.co.jp/
副理事長	三浦 克之	(株式会社サン・コンピュータ 代表取締役)
		http://www.sancom.co.jp/
理 事	鈴木 敏弘	(株式会社テラソリューション 代表取締役)
		http://www.terasol.co.jp/
監 事	山口 勝久	(株式会社アイシーシーコンピューターシステム 取締役)
		http://www.webicc.co.jp/
	柳谷 章二	(青森情報システム株式会社 代表取締役)
		http://www.ais-inc.co.jp/
	三浦 武	(株式会社ブルーマウステクノロジー 代表取締役)
		http://www.ozupad.com/
	齋藤 勲	(株式会社パッション 代表取締役)
		http://www.passion-s.jp/

宮城県ソフトウェア事業協同組合

理事長 木村 裕

☆MISPA 事業内容☆

- 共同受注
- 共同販売
- 共同研究・開発
- 情報交流
- 各種イベント・行事等

組合活動の活性化と組合員の拡大を目指す

宮城県は東北の他の県との比較では経済環境が恵まれています。IT関連に目を転じると多少はという事ですが、震災復興の土木・建築事業の盛んなうちに、当組合はJASPAを初めとし、他の団体との連携・協同事業への取り組みを推進し、活動を通して組合員拡大に繋がります。又、こういった団体・他の地域との事業展開を基に、組合員の活動の活性化を図り、協同販売・協同開発を進めるビジネスチャンスを生み出し、実績を上げることを目指しております。

理事長 木村 裕 専務理事 柴田信幸 理事 猪又正明／太田貴之／青木雅秀／亀岡幸康 監事 林知之
☆会員数は賛助会員、特別会員を含め10社です☆

住所：宮城県仙台市青葉区二日町2-1 キムラオフィスビル4階
TEL：022-261-0156 FAX：022-261-0165 E-MAIL：formmail@mispa.ecweb.jp

S.A.I.Tama 埼玉ソフトウェア事業協同組合

組合員相互・関連団体との連携を深め、
事業所レベルで交流が生まれるよう諸活動を行ってまいります。

代表理事 齋藤光仁（平成27年5月就任）

アスノシステム(株) (株)MCEAホールディングス 埼玉田中電気(株)
(株)シアンス・アール (株)東栄コンサルティング 東京システムハウス(株)
(株)ユニケソフトウェアリサーチ

（事務局） 108-0074東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前 電話：03-3473-9822

首都圏ソフトウェア協同組合

ダイレクト商談会で広がる METSAの共同受注ネットワーク

活発な情報交換の中から組合員のビジネス機会を創出します。

当組合では (1)毎週水曜開催ダイレクト商談会 (2)官公需の共同受注 (3)共同求人研修事業 (4)研究会
(5)毎月の協議会・交流会、等を通じて組合員の受注機会の増進を図り、豊かなソフトウェア産業を実現します。

代表理事 眞杉 幸市／理事 中島 洋／秋田 忠之／小池 保典／福原 智／齋藤 光仁／監事 樽屋 有美子／田井中 友香

住所：〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番地8号 グレイスビル泉岳寺前
TEL:03-3473-9822 FAX:03-3446-4180 E-MAIL:metsa_info@jaspanet.or.jp
URL:http://www.syutoken.or.jp/



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-21-7 住友不動産池袋西コビル5階
URL <http://www.jitrad.com> TEL 03-6907-0751
理事長 平川 学

当組合の特徴は、確かな技術力のみならず、バラエティかつ個性的な会社により構成されているところにあります。

OA分野における通信、インターネットを利用したシステム構築から制御系分野、ファシリティーサービス、画像処理システム開発、さらにはゲーム、スマートフォンやタブレット向けのコンテンツ制作、福祉関連事業など、それぞれが技術の特化と幅広い分野への成長を心がけ、良質なソフトウェアプロダクトの提供を中心に事業展開しております。

組合員・顧問

- | | | |
|----------------|---------------------|-------------|
| ・(株)アーベルソフト | ・(有)ソフトニカ | ・桜木町法律事務所 |
| ・(株)エヌ・アイ・エス | ・(株)新華コンサルティング | ・大村労務法制事務所 |
| ・(株)マイクロ・テクニカ | ・ニチカイ株式会社 | ・山下税理士事務所 |
| ・(株)ラデックス | ・(株)マトリックス | ・発明プロデュース協会 |
| ・(株)システム ツー・ワン | ・(株)メディア・マジック | ・近藤司法書士事務所 |
| ・(株)スティング | ・ホットウェブ(株) | ・一般社団法人UBA |
| ・(株)ユーソフト | ・(株)システムフォース | ・大連穀信グループ |
| ・T2メディアパル(有) | ・(株)クリエイティブエンジニアリング | |
| ・(株)Doing | ・(株)LinkPro | |



経営課題を解決する グリーンITのコンサルティングサービス

①ITシステムの最適化 ②EC（電子商取引）の活用 ③ロジスティックシステムの共有とアウトソーシング化
④企業統合、M&A ⑤人材の再生、再活用と最適な流動化 ⑥人材の教育、研修 ⑦マーケティング戦略
などの経営診断を通し問題解決のためのアドバイス、セミナーおよびコンサルティング等により企業の発展をサポートします。なんなりとご相談ください。

グリーンIT協同組合

所在地 〒108-0074 東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前7F TEL 03-3473-9774 FAX 03-3473-9825
組合員 理事長 守田 徹／理事 岡積正夫／理事 藤野宣明／理事 小口 日出彦／監事 粕谷義和／顧問 北島一雄
伊藤哲男／斉藤貴加年／鈴木陽一／事務局 小倉治雄
URL <http://www.green-it.or.jp>



ソフトウェア事業協同組合

理事長 磯崎 澄

"クラウドサービスソリューション"と "ポストSIビジネスソリューション"の 協同提供を

お客様の優良ビジネスパートナーとして
クラウド時代／ポストSIビジネス時代に相応しい
高付加価値サービスを研究会で検討し
協同提供を推進してまいります

(株) ユー・エス・イー	Fullon(株)
(株) ユー・エス・イー ビジネスソリューション	ミキシステム(株)
(株) ユー・エス・イー コート	サイバーグリーン(有)
(株) アイ・ジー・スクウェア	(株) ハイエレコン 東京本社
(株) アイ システムサービス	(株) シスマック



東京都渋谷区恵比寿3-1-7 タマビル恵比寿7F tel 03-5449-2761 fax 03-5475-8679 URL <http://www.sba-jaspa.jp>

YRP情報産業協同組合

当組合は、移動無線通信・情報通信技術を中心とした研究開発拠点である
YRP(横須賀リサーチパーク)の開設に先立ち、地域の中小情報産業の振興を
図る趣旨で設立し、神奈川県、東京都の企業がメンバーです。

共同受注を通して組合員のビジネス機会を増強し、実績を積み重ねていくことで、
組合員及び組合の役割・信頼度を高めていきます。

また、組合員の技術力・人間力をアップする研修を企画し、人材育成を支援します。

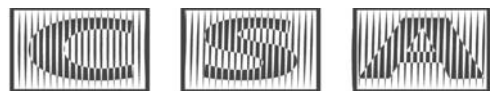
サイカヤ・システム・テクノロジー(株)	(株)美装	(株)データプロセスサービス
(株)ステップ	横須賀ソフトウェア(株)	(株)ビジネスサポート
(株)ティー・エム・シー	横須賀プラント工業(有)	ユニバーサル・インフォメーション・サービス(株)
(株)トヨシステムエンジニアリング	(株)北斗	(株)横浜エンジニアリングサイエンス
(株)日本インテリジェントビジネス	(株)キャリエ・レゾ	シンポー情報システム(株)
日本電子エンジニアリング(株)	テクニカルジャパン(株)	ノックスデータ(株)

代表理事 水野堅市／副理事長 佐藤博彦／佐藤崇雄／専務理事 安木成比古／理事 雑賀政徳
上野昌之／高橋誠(事務局長兼務)／高橋栄一／監事 千葉直樹／顧問 高地光雄／福島義信

〒239-0847 横須賀市光の丘8-3 YRPベンチャー棟420 TEL:046-847-5490 FAX:046-847-5492
URL:<http://www.yrp-iics.or.jp>

明るい未来を創るCSA

北斗ビジネスソフト(株)	(株)ハツコーエレクトロニクス	(株)日本テクノウェア	(株)日本ソフトウェアテクノロジー	(株)日本システムコンサルタント	日本システムクリエイイト(株)	(株)セル	(株)スマック	京通(株)	カスタマシステム(株)	(株)オリオン情報企画	(株)オー・アール・シー	(株)エルエスアイ開発研究所	(株)エムツーエム	(株)エー・アール・シー
--------------	-----------------	-------------	-------------------	------------------	-----------------	-------	---------	-------	-------------	-------------	--------------	----------------	-----------	--------------



電算ソフトウェア協同組合

理事長 安齋輝雄
(連絡先)東京都品川区東大井5-7-10 クレストI



静岡県ソフトウェア事業協同組合

<http://ssanet.jp>

安心・信頼と継続のための県内ネットワーク

私たちSSAは、静岡県内ソフトウェア業界優良企業の集団です！

- ◆ 常に最先端技術情報を共有
- ◆ 組合員の取引範囲拡張を図る
- ◆ 各組合企業体制の強化を図る
- ◆ 情報発信ステーションの役目を果たす
- ◆ 組合企業開発ソフトのシステム保守問題のお手伝い
- ◆ JASPAとのジョイント

【事務局】 〒422-8055 静岡市駿河区寿町6番34号 (株)電算インフォメーション内
TEL:054-289-2210 FAX:054-289-2209 E-Mail:ssa-info@ssanet.jp

【役員】 理事長 成川秀樹／副理事長 松浦秀三、長橋芳忠(親睦交流担当)／理事 石渡辰夫、
曾根輝夫(教育事業担当)、小林 修(事業連携担当)、長谷川智之(教育事業担当)
／監事 栗田富夫、齊藤弘幸／総務委員長 村松克己／事務局 林 暁子

【組合員数】 31社(県東部:19社、中部:11社、西部:1社)

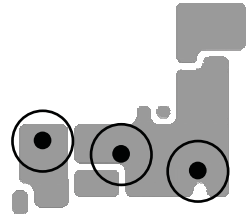
HISCO ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合

<http://www.hisco.jp/>

理事長	川井利通	(株)インネット	代表取締役	理事	加来信夫	(株)アドコムソフト	代表取締役
副理事長・九州支部長	伊集院一人	(株)システック福岡	代表取締役	理事	岡万里子	(株)エル・エス・アイ	代表取締役
理事・関西支部長	田中秀範	(株)テクノアイ	代表取締役	理事	青谷哲也	日本システムスタディ(株)	代表取締役社長
理事	高畑道子	(株)F.M.Bee	代表取締役社長	理事・関東支部長	伊藤整一	(株)網屋	代表取締役社長
理事	宮井 茂	(株)サミットシステムサービス	執行役員	理事	小幡忠信	アルカディア・システムズ(株)	代表取締役
理事	北村雄吾	ソフトキューブ(株)	代表取締役	監事	足立順一	アスノシステム(株)	代表取締役社長
理事	奥出邦且	(株)日本ビュアシステム	代表取締役	相談役	向 浩一	コムチュア(株)	会 長

関西支部・九州支部・関東支部

緩やかな連合で活動しています。



会員募集中

【九州支部】	【関西支部】	【関東支部】
(株)アドコムソフト (株)エル・エス・アイ 三立情報(株) (株)サンレイズ (株)システック福岡 日本システムスタディ(株) (株)ユー・エス・イー (株)NSソリューションズ西日本 (準会員) (財)九州先端科学技術研究所 (準会員)	(株)アスタリスク アスノシステム(株) アルカディア・システムズ(株) (株)アルメディア・ネットワーク (株)インネット (株)F.M. Bee (株)クリエイション (株)クリオシステム (株)サミットシステムサービス (株)シー・シェルコーポレーション センターフィールド(株)	ソフトキューブ(株) 大化物流開発合同会社 (株)チェルト (株)テクノアイ 日本システムマネージメント(株) (株)日本ビュアシステム (株)ハナテックコンピュータシステム バンネットワーク(株) メモリーハウス(株) (株)アローラ (準会員)

沖縄県ソフトウェア事業協同組合

代表理事 幸地 長秀

21世紀型ソフトウェア開発コア集団！

開発・育成・発展のために・・・

住所：沖縄県那覇市久茂地1丁目2番20号

電話：098-951-1844

URL：<http://www.softokinawa.net/>

組合員数：17会員 設立：昭和63年12月

■理事

代表理事	(株)国建システム	幸地 長秀
副理事	(株)VLC	新城 浩一郎
副理事	(有)グローコミュニケーション	前里 耕司
専務理事	(株)サウス・ウインド・システム	仲井間 宗邦
理事	(株)Okicom	小渡 玠
理事	(株)おきぎんエス・ピー・オー	小那覇 勉
理事	(株)ダイワ・メディカル・システム	大西 和男
理事	(有)コンピュータリサーチ	金城 太
■監事		
監事	(有)ノアクラブ	金城 忠

■事業内容

- ・共同受注
- ・人材育成
- ・会員交流
- ・広報

会員交流を主軸に今後も、沖縄県ならびに関係団体と協調・連携をとりながら沖縄県のソフトウェア・IT産業の発展と振興に貢献することを目指していきます。



経済産業省 認可第517号

関西コンピュータ技術協同組合

代表理事 角谷 幸夫

理 事 杉山 貴規

理 事 坂井 寿男

理 事 米原 眞和

監 事 小畑 智尚

組合員73名

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番8号 千代田ビル西別館4階

電話 06(6347)6613 F A X 06(6347)6615

<http://www.kansai-cea.or.jp/>

- ＜営業地区＞ 大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、三重県、和歌山県、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県の区域
- ＜事業内容＞ ・組合員の行ソフトウェア開発の共同受注 ・組合員のためにする共同宣伝
・組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供
・組合員の福利厚生に関する事業 ・前各号の事業に附帯する事業

KT-NET

Knowledge & Technology Information Network

新しいビジネスを創造する

KT-NETは株式会社KDDI研究所の協力を得て東京システムハウスが主催するIT企業対象のビジネスコラボレーション集団です。

＜活動内容＞

- 事業交流会
Face to Faceで情報交換・発信、人脈作りを行うアナログ交流の場、若手起業家、異業種をゲストに迎えた勉強会。
- フェスタ・総会
注目のITキーワードをテーマに、現場のトップランナーを招いてビジネスモデルを探る大規模セミナー。
- 先進技術応用研究会
KDDI研究所の保有技術の説明を受け、市場ニーズとマッチングしたビジネスモデルを探る研究会。
- アジアソフトウェアビジネス研究会
台湾の情報サービス産業協会(CISA)と連携して会員の皆様の海外進出の手助けを目的とした研究会。

KT-NET運営委員会 会長 滝嶋 康弘(株式会社KDDI研究所)
委員長 林 知之(東京システムハウス株式会社)

会員数：88社(2015年11月現在)
連絡先：東京システムハウス株式会社 ユーズワンビル4F KT-NET 事務局
TEL:03-3493-5761 FAX:03-3493-5188 E-MAIL:kt-net@tsh-world.co.jp
URL：<http://www.kt-net.jp/>

NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.10

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。第10回は、エヌ・ラボ株式会社の中島啓吾社長に伺いました。

エヌ・ラボ株式会社
代表取締役 中島 啓吾



しっかり組合に貢献できるように全力で動いていこうと思います

こんにちは、エヌ・ラボ株式会社の中島啓吾です。会長の息子といった方がよいでしょうか？

METSAには7年ほど前から参加させてもらっていますが22世紀フォーラムには昨年から本格的に参加させていただき、交流委員会の副委員長、福利厚生・社会貢献の委員を拝命いただいています。

昨年、社会保険労務士に合格・登録し社労士としての活動もはじめました。せっかく取得したライセンスですから、その知識を組合にも貢献するために使って行きたいと思っています。

2015年度、22世紀フォーラムの中では、いくつかのテーマを持って活動していきたいと思っています。

まず、1つ目は昨年も参画させていただいた、テレコムサービス協会のビジネスモデルコンテストをさらに充実させて、JASPAも大きく絡んでいくこと。具体的には地方の組合も巻き込んで予選大会のいくつかは協賛をしていきたい。JASPA会員からもビジネスモデルコンテストで全国大会に出る企業があってもよいかなと思います。若手育成の場には十分使えるアイテムではないかと思っています。

2つめは、職場環境の改善に少しでも寄与したい。

大分減ったとは思いますが、労働規則や条件で固定残業制や裁量労働の間違った使われ方をしている会社さんがまだ散見されます。企業にとってリスクが高いまま放置されている制度もまだまだあります。そのような会社には最新の労務情報を伝えていきます。そして、今年の12月から施行されるストレスチェック制度の正しい理解。これも、社労士として福利厚生・社会貢献委員としてきちんと皆さんに伝えて行きたいと思っています。

個人的な今年の目標は、「行政書士の資格を取得すること。」中小企業の法務・労務は僕の方でワンストップで見れるようにしようと思っています。ズケズケはつきりモノをいい、生意気だなあと先輩の経営者からは思われているかもしれませんが、しっかり組合に貢献できるように全力で動いていこうと思います。今後ともよろしく願いいたします。

エヌ・ラボ株式会社
住所：〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川 4-6-16
URL: <http://www.nakaji.co.jp/>
会社の設立年：2000年4月
事業内容：講演・メディア事業、新ビジネス支援事業
フードエンターテインメント事業、沖縄事業
資本金：1,800万円

NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.11

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。第11回は、株式会社システック福岡の伊集院社長に伺いました。

株式会社システック福岡
代表取締役 伊集院 一人



明るく、楽しく、面白く。

ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合(HISCO)九州支部所属、株式会社システック福岡の伊集院一人です。JASPAの皆さまには大変お世話になっております。

弊社は昭和61年に設立し来年2月に30周年を迎えます。私はその年の12月に途中入社以来プログラマを経て平成14年に代表取締役に就任しました。設立当時は袖机ほどあるワープロを駆使して企業向け文書作成代行やパソコン教室を行う傍ら、大部分の技術者は東京へプログラマとして出向していました。当時、親会社であった株式会社ラデックスにて私も3年程修行を行い福岡へ戻りました。拠点を福岡へ移しましたが業務内容は首都圏の仕事ばかりでした。ニアショアの走りですね(笑)。

それから二十数年、浮き沈み(ほとんど水面下)を繰り返し、昨年は鹿児島に営業所を作ったりして何とかやっている次第でございます。

40歳そこそこで突然代表に就任したものですから、何をしたらいいものか大変困惑しておりました。その際、お力添えを頂いたのがHISCOの皆さんであたりJASPAの皆さんでした。本当に心強かったことを思い出します。地方の会社ですのでJASPA会合へは中々出席できないのですが年数回は参加するようにしてきました。戦力不足ですが22世紀フォーラムへも参加させて頂きビジネス委員会へ所属しております。首都圏に顧客

開拓を行いそれに絡めて22CFへ貢献できるように思慮しています。

明るく、楽しく、面白く。弊社の社訓であります。先代からの訓示ですがとても好きな言葉ですので、そのまま使っており毎年、新入社員へも思いを伝えていきます。

明るく楽しくは振舞えるけど、本当に心から面白いと思って何かをしていますか？ 仕事がそうであるに越したことはないけど、仕事への活力となるようなモノ、コトがありますか？ 私自身も常にこれを思い面白い会社を目指していますが、まだまだ旅の途中といった感じですね。

なんでも書いてよいということで取り留めもない話になりましたが、最後に私どもHISCOも今年の総会にて役員改定が大幅に行われ、大阪の株式会社インネットの川井社長を新理事長として、関東、関西、九州の3拠点が一丸となってIT業界を盛り上げていく所存ですのでJASPAの皆さまも今後とも宜しく願い致します。

株式会社システック福岡
住所：〒812-0037 福岡市博多区御供所町1番1号西鉄祇園ビル9階
URL: <http://www.s-fukuoka.com>
会社の設立年：1986年2月
営業所：福岡本社、大分営業所
資本金：1,000万円

株式会社エー・アール・シー

高品質なITソリューションをワンストップで



株式会社 竜巧社 ネットウェア

RYUKOSHA NETWORK

竜巧社 ネットウェアは、お客様の発展を全力で支援します。

システムの運用から構築まで、幅広く、愛情を注ぎ対応いたします。

<http://www.ryukoshanw.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目14-9 依田忠ビル7F

NEW LEADERS vol.12

ニューリーダーズ

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。第12回は、株式会社FM. Beeの高畑道子社長に伺いました。

人間性豊かな感動できる技術集団であれ

ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合(HISCO)関西支部所属、株式会社FM. Beeの高畑道子です。関西なのであまりJASPAの皆さまにお会いする機会が少なく申し訳ありません。

弊社は2003年3月3日に設立し、今期で13期になります。設立した2003年3月は、1円で会社が設立できる法律が施行され、最初の大安吉日がひなまつりということもあり、この日をまっけて設立となりました。最初の資本金は10万円。フリーの技術者ふたりが気ままに仕事をするところからのスタートでした。そこから、わらしべ長者式にいろんなメンバーが増え、お仕事が仕事をしない、今日に至っています。

弊社は、受託開発の仕事がメインで、以前は、食品流通系、化粧品、アパレルの業務系のシステム開発と、デバイスメーカー、家電メーカー、アプリメーカー様の組込み・ユーティリティ開発にチームを分けておりましたが業務系のお客さまもWebシステムとスマートデバイスとの連携など垣根がなくなり、混在しての開発が増えてきました。また昔からWindowsとMacOSのアプリを開発していた経緯もあり、昨今のMacOSの普及により、Macアプリの開発ができる技術者をさがして弊社にたどり着かれる方も少なくありません。また、ユーティリティやノベルティアプリなどもスマホ対応が必須になってきました。その為、プログラムだけではなく、音楽やデザイン、キャラクタ、ブランディングなどのコンテンツも取り扱っています。

どういわけか、HISCOの何社かでは社章パッチの制作やチラシ制作も手掛けさせていただいています。

もともとわたしも技術者なので、とても営業が下手なのですが、本当にいろんな方との出会いでなんとかここまでやって来れました。HISCOとの出会いはその中でも、とても大きなものに

株式会社FM. Bee

代表取締役社長 高畑 道子



なりました。HISCO関西の主なメンバーで立ち上げたRubyビジネス推進協議会にも参加させて頂き、受注の半分をRuby on Rails案件が占めるようになっていきます。

弊社は、常に、「人間性豊かな感動できる技術集団であれ」を目標に、「新しい技術への征服感」「難問を解く達成感」「顧客のニーズに応える満足感」「個人(家族)の幸福感」を追求し、お客様と共に未来へと続く「システム開発」を目指しています。

その為には、自分達に何が出来るかを考え、実践し、個々の能力を最大限に活かし社会への貢献と個々の幸せとの一致をはかれる会社へと成長できるよう日々努めてまいります。

また、JASPAでは22世紀フォーラムのメンバーとして参加させて頂いております。参加している「社会貢献・福利厚生委員」では、今企業の課題となっているCSRや女性の活躍、メンタルヘルスなどを勉強させて頂いております。くしくも昨年、医療・福祉・介護をITでつなぐをテーマに、一般社団法人女性と地域活性推進機構(WAO: <http://wao.jp.net>)を設立し、多くの課題と向き合っていました。こういった活動が、社会の一助となればと願い、今後も積極的に参加させて頂ければと思っています。

引き続き、ご指導いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社FM. Bee
住所: 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満1-2-5大阪JABビル5F
URL: <http://www.fmbec.com>
会社の設立年: 2003年3月
事業所: 大阪本社、関東サテライトオフィス
資本金: 1600万円

製造・流通・物流業社様を中心に、IT技術の豊富な経験と業務知識で、情報システム導入に関する企画から、Webシステム開発・管理や保守まで、総合的なサービスを提供いたします。

経営可視化

現場効率化

IT最適化

業務分析

投資効果算定

プロジェクトマネジメント

ERP導入

生産管理

物流管理

株式会社ドルフィンスルー <http://www.dolphin-through.co.jp>

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-10-8 五反田S&Lビル4F TEL:03-5423-0236 FAX:03-6426-7837

平成27年1月15日、16日

東京都「グランドプリンスホテル高輪 クラウンルーム」にて、運営委員会、及び、賀詞交歓会開催

出席者240名

●特別記念イベント／パネルディスカッション

テーマ「今こそ、ITコラボレーションへ創造しよう！日本の稼ぐ力～」
パネラー：一般社団法人コンピュータソフトウェア協会会長 荻原紀男氏
一般社団法人テレコムサービス協会 幹事会議長、常任理事 鈴木良之氏
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 会長 安田浩氏
コーディネーター：中島 洋 JASPA会長
(幹事組合：22世紀フォーラム)

●事務局長会議 出席者16名

1. 各組合の現状および今後の展望等に関する情報交換

●運営委員会 出席者40名

1. H27年度JASPA賀詞交歓会について

2. JASPA専任委員会からの報告

●懇親スポーツ大会 ヌーヴェルゴルフ倶楽部



特別記念イベント／パネルディスカッション



自由民主党 IT戦略特命委員長 平井たくや議員



JASPA役員



アトラクション 米澤美玖カルテット

平成27年2月4日

東京都「株式会社エー・アール・シー 会議室」にて、交流委員会主催 第1回若手交流会開催



平成27年2月19日、20日

静岡県「ホテルアソシア静岡 会議室」にて、運営委員会開催

(幹事組合：静岡県ソフトウェア事業協同組合)

●運営委員会 出席者46名

1. JASPA賀詞交歓会の報告

2. JASPA専任委員会からの報告

3. SSA創立30周年記念式典開催について

4. YRP情報産業協同組合のJASPA加入について

5. 第2回JASPAフェア開催について

6. 総会及び賀詞交歓会の担当ホスト団体の件

●懇親スポーツ大会 富士宮ゴルフクラブ



運営委員会



JASPA中島会長講演

平成27年3月12日、13日

福岡県「西鉄祇園ビル 会議室」にて、運営委員会開催

(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合九州支部)

●運営委員会 出席者32名

1. JASPA専任委員会からの報告

2. 第2回JASPAフェア開催について

3. ホスト組合からの報告

4. JASPA第20回通常総会のご案内

●懇親スポーツ大会 玄海ゴルフクラブ



運営委員会



懇親会後の集合写真

平成27年3月24日

東京都「株式会社エー・アール・シー 会議室」にて、社会貢献・福利厚生委員会主催

「働きやすい職場(メンタルヘルス)」セミナー開催

1. 「働きやすい職場をかんがえる」社会保険労務士 中島啓吾氏

2. 「働きやすい職場作りのための政府の支援と助成」

ユニバーサルステージ 木村誠氏



平成27年4月17日、18日

長野県「佐久市 猪料理 やまおく」にて、運営委員会開催

(幹事組合：埼玉ソフトウェア事業協同組合)

●運営委員会 出席者23名

1. JASPA専任委員会からの報告

2. 第2回JASPAフェア開催について

3. 第20回通常総会について

4. 2015日台ソフトウェア企業交流商談会について

●懇親スポーツ大会 軽井72ゴルフ 東・入山コース



運営委員会



懇親スポーツ大会

平成27年5月12日

東京都「レストランルティザン 会議室」にて、
社会貢献・福利厚生委員会主催
「ストレスチェック制度ガイドライン」セミナー開催 出席者40名
 1. 「ストレスチェックについて」
 厚生労働省労働基準局安全衛生部
 労働衛生課産業保健支援室 産業保健支援 室長 井上仁氏
 2. 「障がい者雇用について」
 株式会社アイエスエフネット 渡邊幸義氏



平成27年5月13日

東京都「ゲートシティ大崎」にて、**第2回JASPAフェア開催**
 (幹事組合:22世紀フォーラム)
 テーマ 「セキュリティ対策とIoT」
 基調講演
 1. 企業とサイバーセキュリティ対策
 株式会社ラック 取締役CTO 西本逸郎氏
 2. マイナンバーの留意ポイントと個人情報保護
 株式会社富士通総研 経済研究所 主席研究員 榎並利博氏
 3. IoTにかかわるテクノロジーについて
 株式会社KDDI研究所 ネットワークセキュリティグループ リーダー 窪田歩氏
 4. サイバーセキュリティ、ソフトウェア企業への期待
 JPCERT 専務理事 早貸淳子氏
 コーディネーター:中島 洋 JASPA会長
 (詳細は、TOPICSページを参照ください。)

平成27年5月14日、15日

東京都「笹川記念館 会議室」にて、**事務局長会議・運営委員会・JASPA共済会総会・第20回総会・特別講演会開催**
 (幹事組合:首都圏ソフトウェア協同組合)
 ●事務局長会議 出席者17名
 1. 出席組合からの現状と展望等についての発言内容
 ●運営委員会 出席者37名
 1. JASPA第20通常総会の開催について
 2. JASPA専任委員会からの報告
 ●特別講演会 出席者57名
 自由民主党 IT戦略特命委員長
 平井たくや議員が語る「マイナンバーの未来」

●JASPA共済会総会 出席者39名

【決議事項】
 1. 第17期決算関係書類承認の件
 2. 第18期における事業の収支計画の件

●第20回通常総会 出席者39名

【決議事項】
 1. 平成26年度事業報告書及び決算関係書類承認の件
 2. 平成27年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件
 3. 平成27年度借入残高の最高限度決定の件
 4. 1 組合員に対する貸付金残高の最高限度決定の件
 5. 手数料及び貸付利息の最高限度決定の件
 6. 役員報酬決定の件
 7. JASPA役員の補充について

●懇親スポーツ大会 豊里ゴルフクラブ
 (特別講演会の詳細は、TOPICSページを参照ください。)



運営委員会



懇親スポーツ大会

平成27年5月26日

東京都「株式会社エー・アール・シー 会議室」にて、
交流委員会主催 第2回若手交流会開催

平成27年6月3日～6日

2015日台ソフトウェア企業交流商談会(台湾開催)
 ●日台歓迎会 6月3日 呦呦荷造場
 ●ソフトウェア企業交流商談会 6月4日
 台北市台大病院国際会議中心
 主催者挨拶、来賓の挨拶、
 基調講演:台湾IoT分野とビッグデータの商機
 基調講演:4G応用の台湾スマートライフ、日台協業実績の紹介、
 MOUの締結/挨拶、台湾企業の紹介、日本企業の紹介、懇親会
 ●Computex 台湾国際コンピュータ見本市視察 台北世界貿易センター
 (詳細は、TOPICSページを参照ください。)

平成27年6月18日、19日

青森県「八戸ワシントンホテル 会議室」にて、**運営委員会開催**
 (幹事組合:青森県ソフトウェア協同組合)
 ●運営委員会 出席者26名
 1. JASPA専任委員会からの報告
 2. JASPA第20回通常総会報告

3. JASPAフェア2015報告
4. 新銀行東京提携ローン利用合意書締結の件
5. ホスト組合からの報告

●懇親スポーツ大会 みちのく国際ゴルフ倶楽部



運営委員会

平成27年7月16日

東京都「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、
社会貢献・福利厚生委員会主催 マイナンバーセミナー開催
 (賛助会員日本個人情報管理協会との共催) 出席者30名
 1. 「1から良くなるマイナンバー～民間事業者は何をしなければならぬか?～」
 社会保険労務士 中島啓吾氏
 2. 「JAPICOの御紹介」一般社団法人日本個人情報管理協会 増子由紀氏
 (詳細は、TOPICSページを参照ください。)

平成27年7月16日、17日

宮城県「宮城県ソフトウェア事業協同組合 会議室」にて、**運営委員会開催**
 (幹事組合:宮城県ソフトウェア事業協同組合)
 ●運営委員会 出席者21名
 1. JASPA専任委員会からの報告
 2. 平成27年度情報化促進貢献表彰の推薦について
 3. CEATEC2015におけるIT団体連盟発足パネルディスカッション参加の件
 4. ITコーディネータ協会との相互入会について
 5. HISCO ITフォーラム及びKT-NET総会2015について
 6. ホスト組合からの報告

●懇親スポーツ大会 泉国際ゴルフ倶楽部



運営委員会

平成27年8月3日

東京都「経済産業省」にて、
商務情報政策局 情報処理振興課 渡邊昇治課長を表敬訪問



平成27年8月7日、8日

北海道「ホテル札幌芸文館 会議室」にて、
マイナンバーセミナー、運営委員会開催
 (幹事組合:北海道ソフトウェア事業協同組合)
 ●マイナンバーセミナー 出席者10名
 ●運営委員会 出席者40名
 1. JASPA専任委員会からの報告
 2. 平成27年度情報化促進貢献表彰の推薦について
 3. ITビジネスコンテスト共催参加について
 4. 情報漏洩リスク他に対する支援について
 5. CSAJとの共催セミナー開催について
 6. CEATEC2015におけるIT団体連盟発足
 パネルディスカッション参加の件
 7. HISCO ITフォーラム及びKT-NET総会2015について
 8. ホスト組合からの報告
 ●懇親スポーツ大会 札幌エルムカントリークラブ



運営委員会



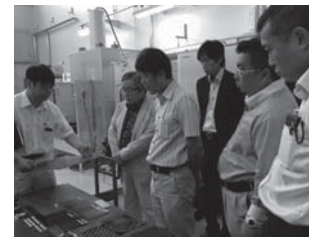
懇親会

平成27年8月20日

東京都「株式会社アイエスエフネット 本社他施設」にて、
社会貢献・福利厚生委員会主催障がい者雇用施設見学会開催

平成27年9月9日、10日

石川県「いしかわサイエンスパーク、」にて、
賛助会員の交流委員会、及び、賛助会員のテレコムサービス協会と共同で現地施設視察会開催
 1. いしかわサイエンスパーク施設見学(9月9日)
 2. 石川県工場試験場(9月10日)



いしかわサイエンスパーク



石川県工場試験場

HISCO ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合

会員募集中!

<http://www.hisco.jp/>

関西支部・九州支部・関東支部

2016年。HISCOは新しい布陣で活動中。

本部事務局:大阪府大阪市淀川区西中島 6-1-1 新大阪プライムタワー 20 階
 アルカディア・システムズ株式会社内
 事務局直通:090-8659-1450 e-mail:info@hisco.jp



MISPA 宮城県ソフトウェア事業協同組合

組合企業の活性化と拡大

理事長 木村 裕

(有)キムラオフィス・コーポレーション
 (株)エヌピーエス
 首都圏コンピュータ技術者(株)
 (株)エー・アール・シー
 地球ソリューションズ(株)

木村 裕
 柴田 信幸
 猪又 正明
 太田 貴之
 青木 雅秀

(株)地域創造
 (株)トライコ
 日本エス・ディー・エル(株)
 (株)永紳司
 東京システムハウス(株)

亀岡 幸康
 丹野 尚弘
 伊藤 康典
 浅野 悦司
 林 知之

平成27年9月10日

石川県「金沢勤労者プラザ 会議室」にて、運営委員会開催
(幹事組合:22世紀フォーラム)
当連合会の賛助会員である全国地域情報産業団体連合会全国大会への参加
●運営委員会 出席者19名
1. JASPA専任委員会からの報告
2. 振込手数料割引サービスの提案
3. HISCO ITフォーラム及びKT-NET総会2015について



運営委員会

平成27年9月10日、11日

石川県「ANAクラウンプラザホテル金沢」にて、
全国地域情報産業団体連合会の懇親会及びスポーツ大会に参加
●懇親スポーツ大会 片山津ゴルフ倶楽部／白山コース



懇親会での鏡開き

ANIAいしかわ大会来賓集合写真

平成27年9月17日

東京都「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、
教育・人財委員会主催 共同求人・合同企業説明会開催

平成27年10月9日

千葉県「CEATEC2015 幕張メッセ」にて、CSAJ、ANIA、JIET、
JASPA各団体代表者によるパネルディスカッション開催
テーマ「明日のIT政策とソフトウェア産業を考える～IT関連団体の役割と共通の課題～」
パネラー:全国ソフトウェア協同組合連合会 会長 中島洋
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 会長 荻原紀男氏
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 会長 長谷川亘氏
特定非営利活動法人日本情報技術取引所 理事長 酒井雅美氏
モデレータ:日本経済新聞社編集委員 関口和一氏
(詳細は、TOPICSページを参照ください。)

平成27年10月15日、16日

大阪府「CIVI新大阪研修センター」にて、マイナナンバーセミナー、運営委員会開催
(幹事組合:ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
●マイナナンバーセミナー 出席者 27名
●運営委員会 出席者38名
1. JASPA専任委員会からの報告
2. 経済産業省情報処理振興課長との懇談会開催の件
3. Web会議システム(GCgate)のご案内
4. 日本情報技術取引所(JIET)との相互入会の件
5. 日本IT団体連盟設立について
6. 賀詞交歓会2016実行委員会発足及び開催の件
7. ホスト組合からの報告
●懇親スポーツ大会 ABCゴルフ倶楽部
(詳細は、TOPICSページを参照ください。)



運営委員会

懇親会

平成27年10月21日

「メルパルク東京 会議室」にて、
経済産業省 商務情報政策局情報処理振興課
渡邊昇治課長との座談会を開催
出席者 経済産業省2名、JASPA8名の他、傍聴者として、
JASPAから5名
(詳細は、巻頭特集①を参照ください。)

平成27年11月12日、13日

沖縄県「バシフィックホテル沖縄 会議室」にて、
運営委員会開催
(幹事組合:沖縄県ソフトウェア事業協同組合)
●運営委員会 出席者36名
1. JASPA専任委員会からの報告
2. JASPA、CSAJ共催セミナー開催の件
3. 日本IT団体連盟設立について
4. 賀詞交歓会2016実行委員会発足及び開催の件
5. JASPAフェア2016の件
6. ホスト組合からの報告
●懇親スポーツ大会 パームヒルズゴルフリゾート



運営委員会



懇親会のアトラクション

平成27年11月20日、21日

青森県六ヶ所村にて、青い森クラウドベース視察会 開催
●出席者10名
1. マイナナンバーに関する意見交換会
2. 青い森クラウドベース、発電設備等見学

平成27年12月3日

東京都「トスラブ山王 会議室」にて、
JASPA/CSAJ共催セミナー～ビジネス委員会 開催

●出席者JASPA33名、CSAJ40名、合計73名
1. Google社基調講演
グーグル株式会社 パートナー営業本部 本部長 大須賀 利一氏
2. テレワーク講演 JASPA 中島啓吾氏
3. IoTへの取組(二重暗号化技術について)
株式会社KDDI研究所 情報セキュリティグループ 研究主査 福島 和英氏
4. 地方創生に向けたビジネスマッチングの可能性(パネルディスカッション)
パネラー:JASPA 中島会長、CSAJ荻原会長、JIET 南出副理事長
モデレータ:インプレス志度氏(IT Leaders副編集長)



JASPA 中島洋会長



テレワーク講演 JASPA 中島啓吾氏



パネルディスカッション

小さな大企業

「北限の地、青森からダイヤモンドの様に光輝く企業」を目指します



- 看護業務支援システム
ナース物語 オフィス EX
- 医療安全支援システム
ナース物語 セーフティ
- 医材マネジメントシステム
ナース物語 サプライ
- 勤務表作成支援システム
ナース物語 ナイスプランII
- 血糖値管理システム
ナース物語 SMBG
- リハビリ業務支援システム
リハ物語 POST
- 物流管理システム
サプライ物語

おまかせバックアップサービス



MCS マルマンコンピュータサービス株式会社

本社: 〒036-8051 青森県弘前市大字宮川 3-5-2
TEL 0172-33-5166 FAX 0172-36-3362

東京: 〒110-0016 東京都台東区台東 2-9-4
明治安田生命秋葉原昭和通りビル 10F
TEL 03-3839-3395 FAX 03-3839-3396
URL: http://www.mcs-kk.co.jp



お客様のための ICTサービスカンパニー

TSH 東京システムハウス株式会社

IoT実践塾

KT-NET

【日時】第2期 2016年2月以降予定 13:00～19:00 × 4日間(8講座)
【定員】20名(最少催行人数10名) 【費用】150,000円/名(税抜)
【カリキュラム】
第1回 IoT概論(マーケット) 第5回 IoTサービスのアーキテクチャ設計
第2回 IoT概論(テクノロジー) 第6回 IoTにおけるサーバ設計とデータ分析
第3回 センサー&基盤 第7回 セキュリティ&暗号
第4回 ネットワーク 第8回 IoT設計理論
※表示の講座内容や回数は予定であり、予告なく変更する場合があります。
■日程詳細 http://www.kt-net.jp/service/bunkakai/manage/education_101.shtml
■お問い合わせ TEL:03-3493-5761 E-mail:kt-net@tsh-world.co.jp

TOREPAS

「つかえる」システムを実感してください!

食品製造業の品質情報管理業務のオールインワンパッケージ
『TOREPAS』では、「つかえる」・「つながる」・「つきあえる」のコンセプトの元、品質管理部門における客先書式の規格書作成、原材料表示作成から開発部門における試作品情報管理、栄養計算などの業務効率化を図ることができます。

■TOREPASホームページ <http://www.tsh-world.co.jp/torepas/>
■お問い合わせ
TEL:03-5436-3341 E-MAIL: torepas@tsh-world.co.jp

レガシー資産をクラウドで

レガシー資産移行ツール「MMS Tools」とクラウド上での実行基盤「AJBASE」をご利用いただくことで、レガシープラットフォームからの脱却とクラウド環境への資産移行を低価格で実現できます。

■MMS+クラウド Webサイト:
<http://www.tsh-world.co.jp/mms/mmscloud.html>
■お問い合わせ TEL:03-3493-4604 E-mail:mms@tsh-world.co.jp



【会社概要】

設立/1976年11月
資本金/1億7990万円
従業員数/163名 代表者/代表取締役 林 知之
売上高/25億円(2014年10月実績)
<http://www.tsh-world.co.jp/>
【交通】
本社/JR山手線、都営浅草線、東急池上線五反田駅徒歩10分
〒141-0031
東京都品川区西五反田7-1-10 ユーズワンビル
電話:03-3493-4601 FAX:03-3493-7916

平成28年1月28日、29日

東京都「品川プリンスホテル」にて
特別講演会および賀詞交歓会開催
特別記念イベント／パネルディスカッション
○パネラー：自由民主党 IT戦略特命委員長 平井たくや議員
経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 渡邊昇治課長
コンピュータソフトウェア協会会長 荻原紀男氏
○コーディネーター：中島 洋 JASPA会長
テーマ ITコラボレーション元年!!
～世界最高水準のIT社会を目指して～
(幹事：22世紀フォーラム)
●運営委員会
1. 特別講演会・賀詞交歓会開催の件
2. JASPA会報誌No.59号発刊の件
3. 年間活動スケジュール、等
●懇親スポーツ大会

平成28年2月18日、19日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於静岡県
(幹事組合：静岡県ソフトウェア事業協同組合)

平成28年3月17日、18日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於九州
(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 九州支部)

平成28年4月21日、22日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於埼玉
(幹事組合：埼玉ソフトウェア事業協同組合)

平成28年5月11日 JASPAフェア

品川フロンビル(予定)

平成28年5月12日、13日

事務局長会議・運営委員会・JASPA共済会総会・
第21回総会・特別講演会・懇親スポーツ大会 於東京都
(幹事組合：在京団体)

平成28年6月16日、17日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於北海道函館市
(幹事組合：青森県ソフトウェア協同組合)

平成28年7月14日、15日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於宮城県
(幹事組合：宮城県ソフトウェア事業協同組合)

平成28年8月4日、5日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於北海道
(幹事組合：北海道ソフトウェア事業協同組合)

平成28年9月15日、16日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於秋田県
(幹事組合：全国地域情報産業団体連合会との合同開催、22世紀フォーラム)

平成28年10月13日、14日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於大阪府
(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

平成28年11月10日、11日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於沖縄県
(幹事組合：沖縄県ソフトウェア事業協同組合)

平成28年12月

平成28年賀詞交歓会実行委員会兼広報委員会 於東京都
(幹事組合：在京団体)

編集後記

今年もJASPA会報誌(2016年度版)を発行しました。
恒例ですが、編集にあたり2015年を振り返ってみました。マクロ経済的にはあまりぱっとしない一年でしたね、EUのギリシャ問題や中国の景気減速などもあり景気、株価の伸びもいまひとつ。
しかし、我々のIT業界はマイナンバー制導入、セキュリティ・個人情報保護、IoT、地方創生などなどのトレンドでフォローアップではありましたが、これも人材不足などで顕著に業績に反映したかという、少々疑問ではあります。いずれにしても社会におけるITの重要性は増すばかりで、その期待に応えるべく昨年から始まった「IT業界における諸団体が大同団結して、理想のIT社会を実現する」、そのような活動に当連合会も積極的に参加しようとしています。
当連合会の今年のスローガン「ITコラボレーション元年!～世界最高水準のIT社会を目指して～」はそれを意味しています。
さて、当連合会の昨年の動向はと言いますと、若手経営者および若手メンバーを中心とした22世紀フォーラムや専任委員会(経営支援、ビジネス推進、人材・教育、交流、社会貢献・福利厚生、広報の各委員会)の積極的な活動により加盟会員の特典がさらに具体化し、連合会が

顕著に活性化した一年ではと総括します。
さらには「JASPA共済」「JASPA-NET」「JAPiCO」「GCゲート・WEB会議システム」など連合会ならではの会員特典を活かしてこの機会に会員の増加を促し、さらなる連合会の強化を図ります。
さて、この会報誌は当連合会の会員間のコミュニケーション誌であります。連合会の活動や加盟会員の事業、技術、営業内容などの会員情報を広く知っていただくための広報誌でもあります。
会員の皆さまのみならず政官界、経済界、取引先などにも配布し連合会の認知、広報と会員各位のPRに役立てていただければと願っています。
会報誌の編集・発行にあたり当連合会の多くのイベントや対外的な催しの中心として精力的に活動していただき、また本誌の巻頭文、巻頭特集を寄稿、推敲いただいた中島会長に心からお礼申し上げます。
とともに資料のまとめや年間の活動記録、その多くの原稿を作成していただいた事務局の鷹羽さんに感謝します。
さらに本号の発行に当たり、会報誌の発行の原資であります広告を掲載いただいた広告主各位に厚く御礼申し上げます。
広報委員長／守田 徹

首都圏ソフトウェア協同組合(METSA)

官公需適格組合(20130215関東第46号)



METSAは100社を超えるソフトウェア業の事業者が結集する協同組合として、組合員並びに関係団体のご支援ご協力のもと、企業運営全般にお役立て頂くことのできる諸事業を実施しております。まずは「ダイレクト商談会」を毎週水曜日に開催し、「ホームページWeb入札研究会」では官公庁入札に挑戦していきます。また、「共同求人研修研究会」では組合員の中長期の人材確保に資する活動を行い、「ビジネスアライアンス研究会」では組合員の事業承継問題に対応いたします。さらに、「組合活性化委員会」は組合員の相互交流を促進してまいります。その他、定例協議会、懇親会、講習講演会、施設利用、社員健康診断など引き続き実施してまいります。

役員
代表理事 眞杉 幸市
理事 中島 洋
理事 秋田 忠之
理事 小池 保典
理事 福原 智
理事 齋藤 光仁
監事 樽屋 有美子
監事 田井中 友香

アーキシステム(株)	(株)RJC	アール・ブイ・シー(株)
(株)ISLWARE	(株)アイ・クリエイティブ	(株)アイ・シー・ティー二十ー
(株)アイスタンダード	(株)アイブイビー	(株)アトムシステムサービス
アストップ工業(株)	アスノシステム(株)	(株)アトリス
(株)アビリティ	(株)網屋	(株)アンヴィル
(株)E-Safenet	(株)インターフュージョンコンサルティング	(株)インテ・クレッセ
INDEX(株)	(株)インテリジェンツ	(株)インフィニティシステム
(株)ウチダ人材開発センタ	(株)HT-Solutions	(株)エス・イー・シーハイテック
エヌ・ラボ(株)	FKC(株)	(株)エフネット
(株)MM総研	(株)エムシーキューブ	(株)エムズフィールド
(株)エム・ソフト	(株)OTソリューションズ	(株)オーミック
(株)おきぎんエス・ピー・オー	開仁産業(株)	(株)クオン
(株)KDK	(株)コードダイナミクス	(株)国際マイクロ写真工業社
(株)コスモデザイン	コムチュア(株)	(株)コムテップ
コンピュータハウス ザ・ミクロ東京	(株)コンピュータプラネックス	(株)三恵クリエス
(株)サン・コンピュータ	(株)シーオーシー	(株)シーキューブソフト
(株)シーセクト	(株)ジェイテック	シオステクノロジー(株)
(株)システック	(有)システム・アシスト	(株)システムシンク
(株)システム・テクノロジー	(株)システムブレインズ	(株)シムコス
しゅくみねっと(株)	(株)ジョニー・ジャガー・ジャパン	(株)SAY企画
(株)ゼネテック	総合事務管理(株)	ソフィア総合研究所(株)
(株)千代田ソフトコンサル	(株)ツノー	(株)ディア
(株)TCSI	DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン(株)	(株)デジタル
(株)天時情報システム	(株)東報	(株)トリプルアイズ
(株)日翔テクノ	(株)日本システムデザイン	日本トータルサービス(株)
ネクストウェア(株)	(株)ノバルットソフトウェアインダストリー	(株)パートナー
(株)ハーベル	ハイパーコンチェルト(株)	(株)バシフィックネット
(株)ハッチエッグ	(株)パワービーンズ	(株)PE-BANK
ヒューロン(株)	(株)ファースト	(株)ファーストシステムデザイン
(株)フェザード	For The Win(株)	(株)フォーミックス
(有)普科峰	プラムシステムズ(株)	(株)ブランチ
プロジック(株)	プロフェッショナル・ネットワーク・コンサルティング(株)	マクロシステム(株)
マルマンコンピュータサービス(株)	万達情報日本(株)	(株)ミライカ
(株)メンドロジック	(株)メディアテック	(株)ユー・エス・イー
(有)ゆうコム	ユース・情報システム開発(株)	ラシスソリューションズ(株)
ランアンドケントス(株)	(株)リマック	(株)竜巧社ネットウェア
(株)流通戦略総合研究所	ワクコンサルティング(株)	

事務局 〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前
TEL.03-3473-9822 FAX.03-3446-4180 担当：小倉 治雄
ホームページ：http://www.syutoken.or.jp/ E-Mail：metsa_info@jaspanet.or.jp

システムインテグレータ企業から トータル“サービス”インテグレータ企業へ



USEは、本年度創業47年目を迎える
独立系のトータルサービスインテグレータ企業です。

“サービスのご提供”を着眼点に、大手SIer様の
優良ビジネスパートナーとして、これまで数多くの
大規模システムの構築に携わって参りました。
更に、その経験で得た技術力・業務ノウハウを強みに
近年一般法人様との取引も拡大させております。

USEをお客様のコアエンジンとして存分にご活用ください。
ご要望を超えた「真のサービス」を提供して参ります。

株式会社ユー・エス・イー
代表取締役社長 吉弘 文平

株式会社 ユー・エス・イー



住所 東京都渋谷区恵比寿4-22-10
tel 03-5449-8511 URL <https://www.use-ebisu.co.jp/>
資本金 9千万円 従業員数 700人(平均年齢35歳) 売上高 86億円
事業所 東京本社、恵比寿アネックス、名古屋、大阪、福岡
関連会社 (株)ユー・エス・イー ビジネスソリューション (株)ユー・エス・イー コート



各官公庁様
入札資格ランク A



さいしょから
さいごまで、
いっしょに。

株式会社 PE-BANK

本 社 tel: 03-3473-9877
北海道支店 tel: 011-209-1110
東北支店 tel: 022-355-6901
中部支店 tel: 052-205-8050
関西支店 tel: 06-6232-0556
岡山支店 tel: 086-235-9970
広島支店 tel: 082-511-8750
九州支店 tel: 092-263-6306
京都営業所 tel: 075-555-3021

<https://pe-bank.co.jp>
(コーポレートサイト)

<https://pe-bank.jp>
(PE-BANK オフィシャルサイト)

PE-BANK



「PE-BANK」が ITの現場の人材不足を解消します。

『PE-BANK』では、当社とプロ契約を結んだ“プロエンジニア”としての教育を徹底することで、スキルアップやプロ意識の向上を図り、エンジニアの品質保証を実施し、優秀な“プロエンジニア”を適材適所にコーディネートし ITの現場での深刻な人材不足を解消します。